

防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事

設 計 図

沖縄県企画部 情報基盤整備課

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度
工事場所	名護市			図面名称	表紙
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	
摘 要				図面番号	
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者	

図 面 目 録

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	備 考
A- 01	図 面 目 録	NO SCALE	
A- 02	建築改修工事特記仕様書(その1)	NO SCALE	
A- 03	建築改修工事特記仕様書(その2)	NO SCALE	
A- 04	建築改修工事特記仕様書(その3)	NO SCALE	
A- 05	建築改修工事特記仕様書(その4)	NO SCALE	
A- 06	案内図・敷地平面図	1/500	
A- 07	鉄 塔 構 造 図 (1) B 柱 / A 柱	1/20	
A- 08	鉄 塔 構 造 図 (2) C 柱 / B 柱	1/20	
A- 09	鉄 塔 構 造 図 (3) D 柱 / C 柱	1/20	
A- 10	鉄 塔 構 造 図 (4) A 柱 / D 柱	1/20	
A- 11	鉄 塔 構 造 図 (5) B 柱 / A 柱	1/20	
A- 12	鉄 塔 構 造 図 (6) C 柱 / B 柱	1/20	
A- 13	鉄 塔 構 造 図 (7) D 柱 / C 柱	1/20	
A- 14	鉄 塔 構 造 図 (8) A 柱 / D 柱	1/20	
A- 15	鉄 塔 構 造 図 (9) A面水平材	1/20	
A- 16	鉄 塔 構 造 図 (10) B面水平材	1/20, 1/40	
A- 17	鉄 塔 構 造 図 (11) C / D / E面水平材	1/20	
A- 18	鉄 塔 構 造 図 (12) リング / ラック / 梯子	1/50	
A- 19	塗 装 概 要 図	1/40	
A- 20	仮 設 足 場 設 置 図	1/50, 1/80	
A- 21	仮 設 計 画 図	NO SCALE	

工事名称	防災行政用無縁北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度
工事場所	名護市			図面名称	図面目録
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	NO SCALE
摘 要				図面番号	A-01
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者	

建築改修工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部

令和8年7月改定版

1 工事概要

(1) 工 事 名 : 防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事

(2) 工 事 場 所 : 名護市 (地域地区等:)

(3) 敷 地 面 積 : m²

(4) 工 事 種 目 :
ア 建築物

建築物の名称			
主要用途			
構造及び階数			
工事種別			
建築面積	m ²	m ²	m ²
延べ面積	m ²	m ²	m ²

イ 工作物及び立木

工作物等の名称	北部合同庁舎		
数量	1 基		

2 本工事の設計時期

本工事の設計書は、令和 8年 7月時点で沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。

3 建築工事仕様

(1) 標準仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」[令和7年版](以下「標準仕様書」という。)による。
(2) 特記仕様
ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
イ 特記事項は、「・」に○印の付いたものを適用する。
「・」に○印がつかない場合は「※」のついたものを適用する。
「・」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。
ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」[平成31年版]巻末の各部配筋参考図の当該項目を示す。

4 その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力
ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。
イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。
ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。
エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。
(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策
受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。
ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。
ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じることがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。
(3) ウィークリースタンスの実施
工事現場環境に関しては、ウィークリースタンス実施要領の3. 取組内容について、業務着手時の打合せ時に確認、調整し、取組内容を設定すること。なお、取組内容は打合せ記録簿へ記録し、受発注者で共有すること。
当該要領については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。
https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gijihen/kankeitosyo.html
(4) 工事監理業務への協力等
ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。
イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。
なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。
ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。

(4) 工事監理業務への協力等
エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。
(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて
本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。
(6) 県産資材の優先使用
本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。
(7) 下請業者の県内企業優先活用
請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するように努めなければならない。
(8) 不発弾等発見時の処理について
本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。
また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態 で保存すること。
なお、これについては、下請業者へも周知すること。
(9) ダンプトラック等の過積載等の防止について
ア 工費用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。
イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。
ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。
エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。
オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。
カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。
(10) 不正軽油の使用の禁止等について
ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。
イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の採取調査に協力しなければならない。

(11) 設計図書における資材等の取扱いについて
ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。
イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等品以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。
ウ 「参考図」は建設工事請負契約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。

(12) ガイドライン等の遵守について
設計変更等については、契約書18条から26条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編)」(沖縄県土木建築部)によるものとする。

(13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について
ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。)の内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。)を明示すること。
また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事業団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積りの活用等の方法により適正に見積もることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。
イ 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。
【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】
https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf
【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】
https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf
【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】
ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書
https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html

(14) 工又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知
落札者は(随意契約の場合)においては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号)第20条の2第2項の規定に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合)においては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、発注者に対して、その旨を当該事象の状況の把握のため必要な情報と併せて通知すること。
通知様式については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。
https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/kenchiku/1023167/1013333/1013334/1013335.html

章

項 目

特 記 事 項

① ① 適用基準等

一般共通事項

② 工事実績情報の登録(1.1.4)

③ 工事の一時中止に関する事項(1.1.9)

4 工事の余裕期間

5 遠隔臨場の実施(1.1.14)

6 概成工期(1.2.1)

⑦ 品質計画等(1.2.2)

⑧ 施工図等(1.2.3)

⑨ 工事の記録(1.2.4)

10 電気保安技術者(1.3.3)

⑪ 施工条件(1.3.5)

・ 建築改修工事監理指針(令和7年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

・ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部

・ 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部

・ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和6年版)(一社)公共建築協会

・ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)

・ 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部

・ 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部

・ 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和8年4月)沖縄県土木建築部

登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。

工事の一時中止に係る計画の作成

(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。

(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

・ 余裕期間を設定する工事 【 方式】
【以下から選択:発注者指定方式/任意着手方式/フレックス方式】

(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。
なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮しない。

(2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。
このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式ー1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。

(3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」によ

・ 本工事は遠隔臨場を適用する。使用する機器及び立合う工程等については監督職員と協議をすることとする。

図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。

(1.2.1)

建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。
(1) 風速:V0＝ 46 m/s (平12建告第1454号第2)
(2) 地表面粗度区分:
(3.5.4)(3.9.3)(5.13.5)(9.3.4)

(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工期間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。

(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。

沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。

電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。

施工順序等の制約 ・ 無し
・ 有り
・ 現場説明書による ・ 図示 ・

工事車両の駐車場所 : ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ 資材、機材置場 : ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ 建設発生土の仮置場 : ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ その他の施工条件 : ・ 図示 ・ 現場説明書による ・

⑫ 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.11)

⑬ 交通安全管理(1.3.9)

(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。

(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
一般工事に用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5〜260kW)
ア バックホウ
イ 車輪式トラクタショベル
ウ フルドーザ
エ 発動発電機
オ 空気圧縮機
カ 油圧ユニット(基礎工事に用機械で独立したもの)
キ ローラ類
ク ホイルクレーン

国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(令和3年2月19日 沖縄県公安委員会告示第38号)

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	名護市	図面名称	建築改修工事特記仕様書(その1)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	
摘 要		図面番号	A-02
検 印	管理建築士	設 計	名 称
		製 図	資格者氏名
			登録番号
			所在地

8
耐震
改修
工事

1 既存部分の撤去等

2 材料及び品質

(8.2.1)

(8.3.4) (8.4.2)

(表8.3.4)

(8.4.2)(8.4.3)

(8.3.8)

(8.2.2)

(8.2.4)

(8.12.4)

(8.1.3)(8.9.1)

(表8.1.1)

(表8.9.1)

(8.1.4)(表8.1.4)

(8.7.8)

(8.21.8)

(8.2.8)(表8.2.7)

(8.17.4)

(8.18.2) (8.18.3)

(8.2.14)

(8.2.9) (8.13.2)

(8.14.2)

(1) 既存構造体の撤去範囲及びはつりだした鉄筋及び鉄骨の処置は、図示による。(8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.25.2) (8.24.4) (8.26.5) (8.27.2)

(2) 既存部分の目荒らしの程度：(8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)

(3) 既存部の取り合い部分の割裂補強筋の仕様：(8.21.6) (8.22.7) (8.26.10) (8.27.6)

(1) 鉄筋
ア 鉄筋の種類等
種類 呼び名 (mm) 備考
イ 鉄筋の継手
施工部位 継手の種類 備考 (重ね継手の長さ等)
ウ 鉄筋の定着長さ
【※図示による。・・】
エ 帯筋組立の形
施工箇所 配筋の方法 その他特記すべき事項
オ 柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。
カ 機械式継手、溶接継手の場合のあきの寸法：
キ 圧接部の超音波探傷試験：【・行う ・行わない】
ク 機械式継手の種類：・図示 ・
(2) 溶接金網
網目の形状 寸法 鉄線の経 備考
(3) あと施工アンカー
ア あと施工アンカーの材料
種類 引張耐力 セン断耐力 径・埋込み深さ アンカー及び接合筋 確認強度
金属系 接合系
イ アンカー筋の新設壁内への定着長さ：【・・】
ウ あと施工アンカーの性能確認試験：【・実施する ・実施しない】
エ 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。
(4) コンクリート
ア コンクリートの種類等
気乾単位容積質量による種類 類別等 設計基準強度 (Fc) 施工部位
・普通コンクリート ※Ⅰ類
・軽量コンクリート ・Ⅱ類
・普通コンクリート ※Ⅰ類
・軽量コンクリート ・Ⅱ類
・普通コンクリート ※Ⅰ類
・軽量コンクリート ・Ⅱ類
イ 材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。
ウ セメントの種類：
【※普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・フライアッシュセメントB種の適用箇所：【・図示 ・】
オ 骨材のアルカリシリカ反応性による区分：※A ・B
カ コンクリート打直し仕上の種別等
仕上の種別 打増し厚さ 施工部位 備考
キ 軽量コンクリート
施工部位 種類 気乾単位容積質量
・1種 ・2種
ク 水又は土に接する軽量コンクリートの使用・有り【使用箇所：・図示 ・】
ケ コンクリートの打込み工法：【・流込み工法 ・圧入工法】
(5) 鋼材
ア 鋼材の種類等
記号の種類 適用箇所 備考
イ 錆止め塗料の種別：【・A種 ・B種】
ウ 耐火被覆の種別及び性能
種類 所要性能及び摘要箇所
エ 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験：
(6) 高力ボルト
ア 高力ボルトの種類等
種類 径 縁端距離 間隔 ゲージ 備考
すべり係数試験：【・実施する ・実施しない】
試験の方法、試験片の摩擦面の処理：【・図示 ・】

(8.15.3)

(8.15.4) (8.15.7)

(8.15.12)

(8.17.4)

(8.18.2) (8.18.3)

(8.20.5)

(8.2.6)

(8.2.13)

3 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事

(8.21.8)(8.21.10)

(8.3.7)

4 鉄骨ブレース設置工事

(8.13.10)(8.22.9)

5 柱補強工事

(8.23.5) (8.23.6)

(8.23.7) (8.24.7)

6 耐震スリット新設工事

(8.25.2)

7 免震・制震改修工事

(8.26.7)(8.26.10)

(8.26.13)(8.27.4)

(8.27.6)(8.27.8)

(8.26.7)(8.27.4)

(8.26.16)(8.27.9)

(8.26.15)

8 既存杭の撤去等

(8.28.2)

9 その他

(7) 溶接
ア 技能資格者の技能付加試験：【・行う ・行わない】
イ 開先の形状等
開先の形状 エンドタブの有・無及び適用箇所 スカラップの形状 溶接部の試験
ウ 錆止め塗料の種別：【・A種 ・B種】
エ 耐火被覆の種別及び性能
種類 所要性能及び摘要箇所
オ 溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理：【・プラスト処理 ・プラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法：】
(8) モルタル及びグラウト材
ア モルタルの圧縮強度及びフロー値：
(9) 連続繊維補強材
材料 工法 引張り強度 ヤング係数 備考
ア 強度試験の実施：【・引張強度試験 ・付着強度試験 (試験数量：)】
(1) コンクリートの打込み及び仕上げ
打込み工法の種類 増設工事後の仕上げ 備考
(2) 壁の配筋及び開口部の補強は、図示による。
(1) 仮組：【・実施する ・実施しない】
(2) ブレース設置後の仕上げは、図示による。
工法 補強後の仕上げ その他 (打込み工法、面取りの大きさ等)
スリット 耐火材 遮音材
幅 深さ 使用箇所 仕様 使用箇所 仕様
(1) 支承材又は減衰材
材質 諸元 防錆処置 寸法許容差 設置後の仕上げ
(2) 性能確認試験の項目及び数量：【・・】
(3) 製品検査
項目 内容 判定基準 検査頻度等
(4) 支承材の耐火被覆の適用：【・有り (仕様：) ・なし】
(5) 検査の項目及び数量：【・・】
(6) エキスパンションジョイントの仕様及び工法は、図示による。
(1) 撤去範囲及び撤去方法：図示による。
既設資材の処理及び処分方法：

5 外断熱改修工事

(9.2.2)

(9.2.3) (9.2.4)

6 断熱・防露改修工事

7 屋上緑化改修工事

(9.4.2) (9.4.3)

8 透水性アスファルト舗装改修工事

(9.5.3)

(9.5.4) (9.5.5)

(9.5.9)

10
その他

1 県産瓦葺

(1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。
(2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。
【・1名以上配置
・施工面積 m2につき、 級技能評価試験に合格した者を1名配置】
(1) 鋼材
記号の種類 適用箇所 備考
(2) 高力ボルト
種類 径 縁端距離 間隔 ゲージ 備考 (すべり係数試験等)
(3) 普通ボルト
径 縁端距離 間隔 ゲージ 備考
(4) 塗料の種別
錆止め塗料の種別：【・A種 ・B種】
・仕様
部材 規格/数量
支柱 STK400 φ50.8×2.3 溶融亜鉛メッキ
スプリングネット 菱形金網 φ3.2×56 400g垂鉛メッキ鉄線
胴縁 上下各1本
・備考
外装は金網類及びバードワイヤを除く他は、溶融亜鉛めっきとする。

3 外構フェンス改修

工事名称

工事場所

発注機関

摘 要

検 印

防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事

名護市

沖縄県企画部 情報基盤整備課

管理建築士

令和 8 年度

図面名称

縮 尺

図面番号

名 称

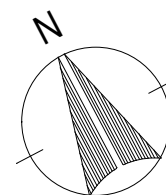
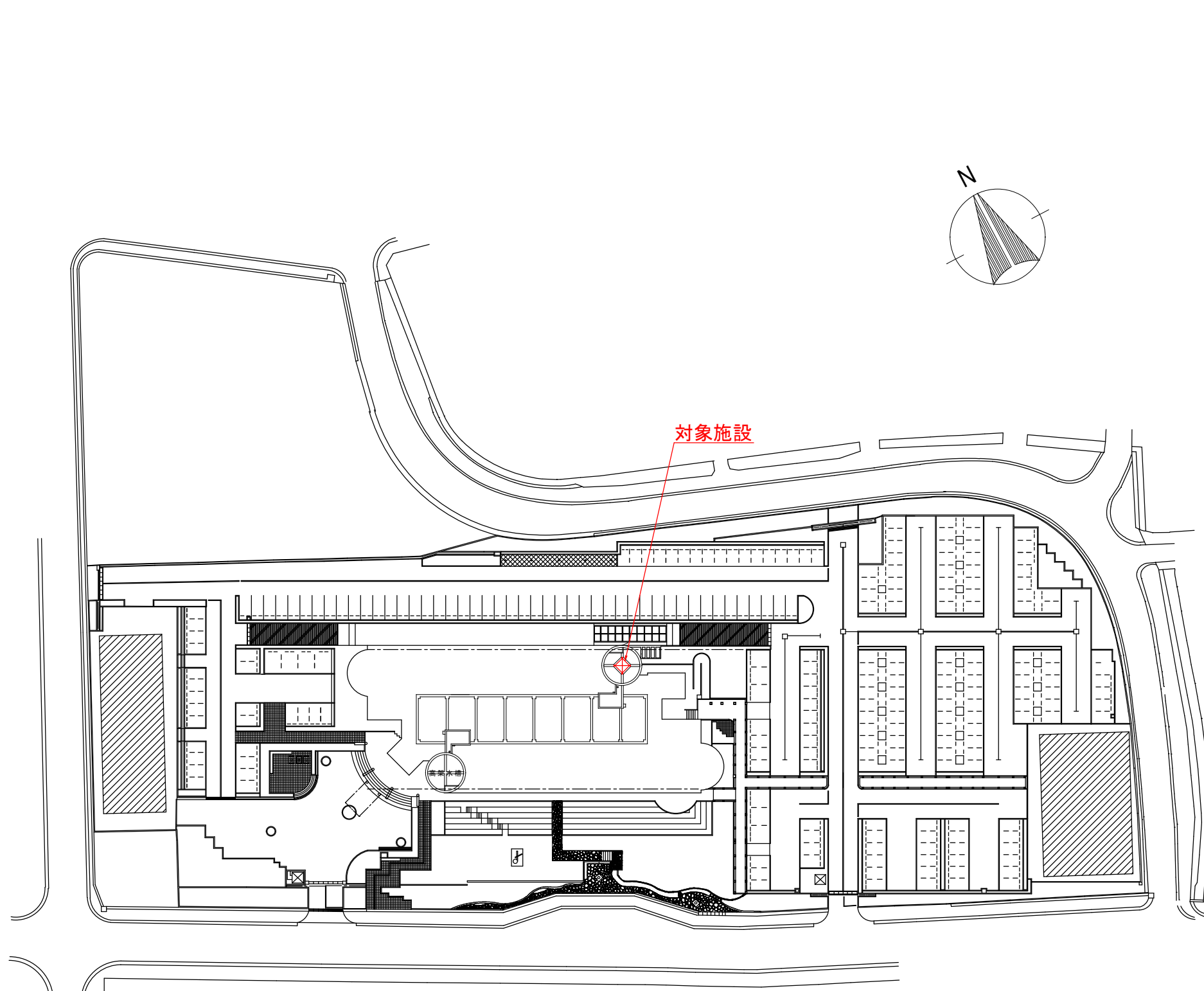
資格者氏名

登録番号

所 在 地

建築改修工事特記仕様書 (その4)

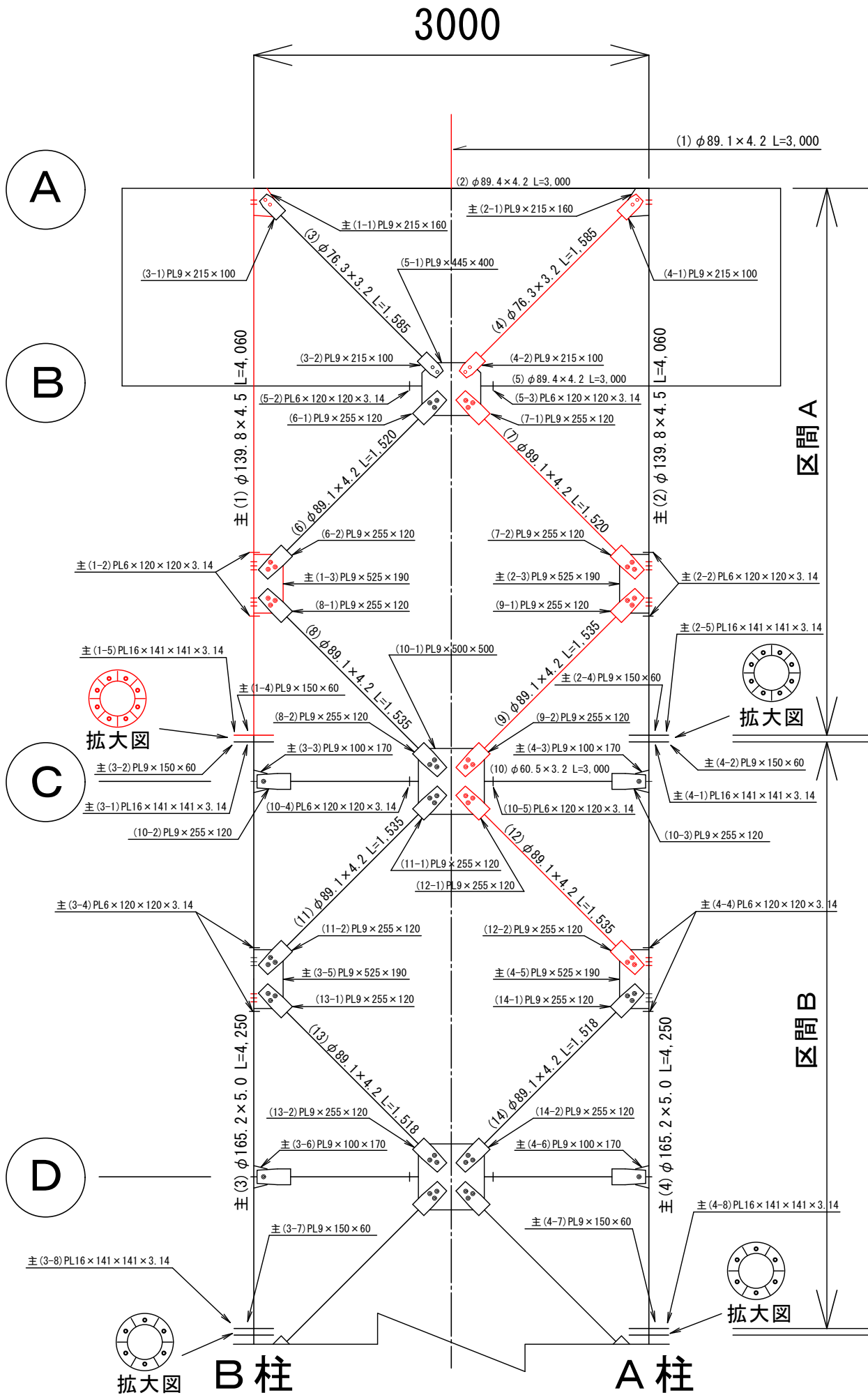
A-05



北部合同庁舎
名護市大南1-13-11



工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局設備改修工事			工事年度	令和8年度	
工事場所	名護市			図面名称	案内図・敷地平面図	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/500	
摘 要				図面番号	A-06	
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者		

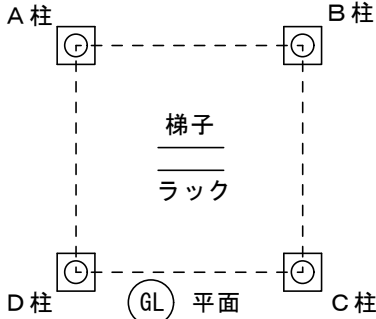
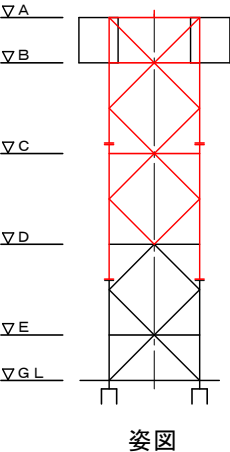


主材：B柱～A柱

N o .	位 置	部 材	長 さ (mm) 積 (㎡)	個 数	取 替	ボルト	個 数	取 替
主 (1)	区間 A	φ 139.8×4.5	4,060 mm	1	1			
主 (1-1)	"	PL9×215×160	0.0344 ㎡	1	1			
主 (1-2)	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	2	2			
主 (1-3)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	1			
主 (1-4)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	8	8			
主 (1-5)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	1	M20×70 (高力)	8	8
主 (2)	"	φ 139.8×4.5	4,060 mm	1	O			
主 (2-1)	"	PL9×215×160	0.0344 ㎡	1	O			
主 (2-2)	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	2	O			
主 (2-3)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O			
主 (2-4)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	8	O			
主 (2-5)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O	M20×70 (高力)	8	O
主 (3)	区間 B	φ 165.2×5.0	4,250 mm	1	O			
主 (3-1)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O			
主 (3-2)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	8	O			
主 (3-3)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O			
主 (3-4)	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	2	O			
主 (3-5)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O			
主 (3-6)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O			
主 (3-7)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	6	O			
主 (3-8)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O	M20×70 (高力)	6	O
主 (4)	"	φ 165.2×5.0	4,250 mm	1	O			
主 (4-1)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O			
主 (4-2)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	8	O			
主 (4-3)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O			
主 (4-4)	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	2	O			
主 (4-5)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O			
主 (4-6)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O			
主 (4-7)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	6	O			
主 (4-8)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O	M20×70 (高力)	6	O

斜材：B柱～A柱

N o .	位 置	部 材	長 さ (mm) 積 (㎡)	個 数	取 替	ボルト	個 数	取 替
1	避雷針	φ 89.1×4.2	3,000 mm	1	1	Uボルト	2	2
2	A	φ 89.4×4.2	3,000 mm	1	O			
3	A～B	φ 76.3×3.2	1,585 mm	1	O	M16×50	4	2
3-1	"	PL9×215×100	0.0215 ㎡	1	O			
3-2	"	PL9×215×100	0.0215 ㎡	1	O			
4	"	φ 76.3×3.2	1,585 mm	1	1	M16×50	4	4
4-1	"	PL9×215×100	0.0215 ㎡	1	1			
4-2	"	PL9×215×100	0.0215 ㎡	1	1			
5	B	φ 89.4×4.2	3,000 mm	1	O			
5-1	"	PL9×445×400	0.178 ㎡	1	O			
5-2	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	O			
5-3	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	O			
6	B～C上斜材	φ 89.1×4.2	1,520 mm	1	O	M20×60	6	3
6-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
6-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
7	"	φ 89.1×4.2	1,520 mm	1	1	M20×60	6	6
7-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
7-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
8	B～C下斜材	φ 89.1×4.2	1,535 mm	1	O	M20×60	6	3
8-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
8-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
9	"	φ 89.1×4.2	1,535 mm	1	1	M20×60	6	6
9-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
9-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
10	C	φ 60.5×3.2	3,000 mm	1	O			
10-1	"	PL9×500×500	0.25 ㎡	1	O			
10-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O	M20×60	1	O
10-3	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O	M20×60	1	O
10-4	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	O			
10-5	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	O			
11	C～D上斜材	φ 89.1×4.2	1,535 mm	1	O	M20×60	6	O
11-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
11-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
12	"	φ 89.1×4.2	1,535 mm	1	1	M20×60	6	6
12-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
12-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
13	C～D下斜材	φ 89.1×4.2	1,518 mm	1	O	M20×60	6	O
13-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
13-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
14	"	φ 89.1×4.2	1,518 mm	1	O	M20×60	6	O
14-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
14-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			

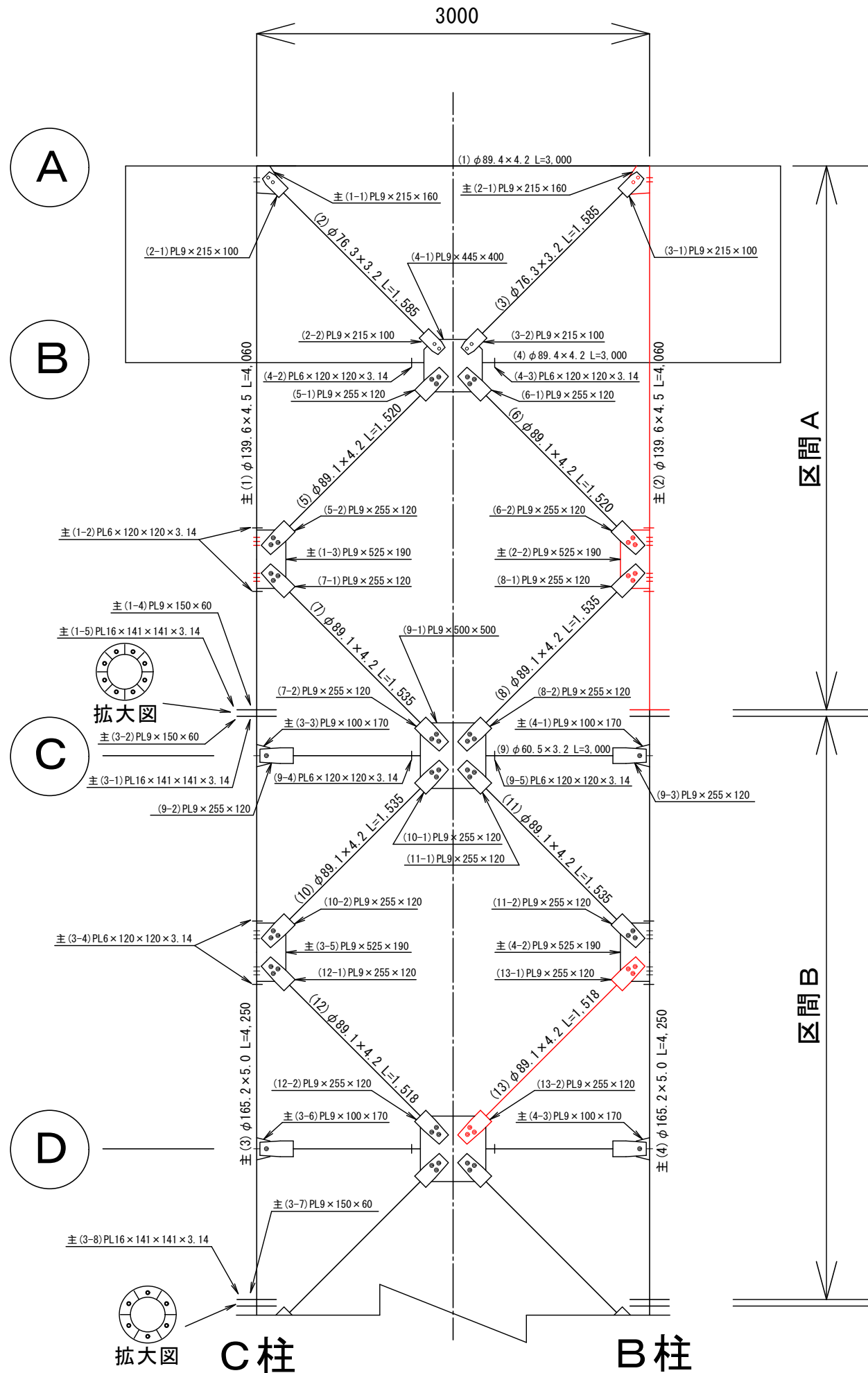


注 記
1) 指しなきプレートは PL6 とする。
2) 指しなきアングルは L50×6 とする。
3) 指しなきゲージは F/2 とする。
4) 指しなき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

ボルト記号
× M12 皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12 ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16 ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20 ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24 ボルト JIS N. SW付 (SS490)

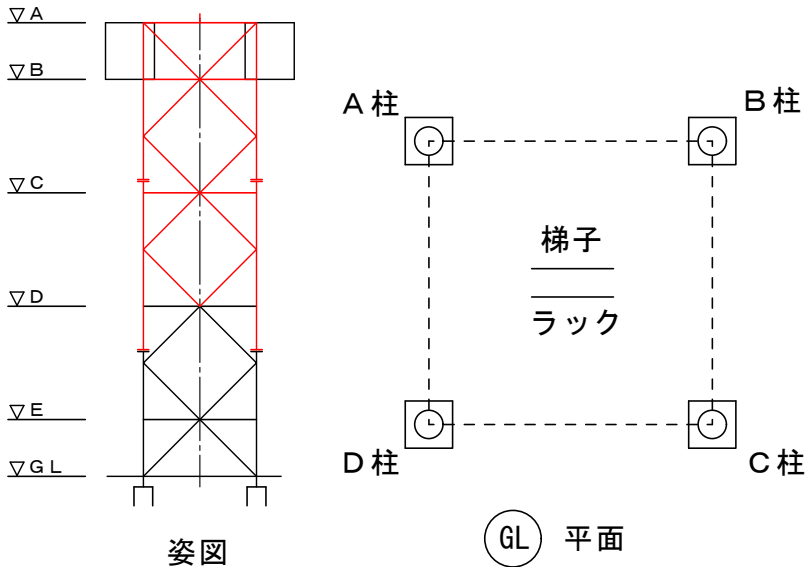
鋼材により隠れてしまう等、確認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は ― で示す。

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	名護市	図面名称	鉄塔構造図(1)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要	図面番号 A-07		
検 印	照 査 設 計 製 図 施 工 者		



主材：C柱～B柱

N o .	位 置	部 材	長 さ (mm)	長 面 積 (㎡)	個 数	取 替	ボルト	個 数	取 替
主 (1)	区間 A	φ 139. 8×4. 5	4, 060 mm		1	○			
主 (1-1)	"	PL9×215×160	0. 0344 ㎡	1	○				
主 (1-2)	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	2	○				
主 (1-3)	"	PL9×525×190	0. 0998 ㎡	1	○				
主 (1-4)	"	PL9×150×60	0. 009 ㎡	8	○				
主 (1-5)	"	PL16×141×141×3. 14	0. 0624 ㎡	1	○	M20×70 (高力)	8	○	
主 (2)	"	φ 139. 8×4. 5	4, 060 mm	1	1				
主 (2-1)	"	PL9×215×160	0. 0344 ㎡	1	1				
主 (2-2)	"	PL9×525×190	0. 0998 ㎡	1	1				
主 (3)	区間 B	φ 165. 2×5. 0	4, 250 mm	1	○				
主 (3-1)	"	PL16×141×141×3. 14	0. 0624 ㎡	1	○				
主 (3-2)	"	PL9×150×60	0. 009 ㎡	8	○				
主 (3-3)	"	PL9×100×170	0. 017 ㎡	1	○				
主 (3-4)	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	2	○				
主 (3-5)	"	PL9×525×190	0. 0998 ㎡	1	○				
主 (3-6)	"	PL9×100×170	0. 017 ㎡	1	○				
主 (3-7)	"	PL9×150×60	0. 009 ㎡	6	○				
主 (3-8)	"	PL16×141×141×3. 14	0. 0624 ㎡	1	○	M20×70 (高力)	6	○	
主 (4)	"	φ 165. 2×5. 0	4, 250 mm	1	○				
主 (4-1)	"	PL9×100×170	0. 017 ㎡	1	○				
主 (4-2)	"	PL9×525×190	0. 0998 ㎡	1	○				
主 (4-3)	"	PL9×100×170	0. 017 ㎡	1	○				

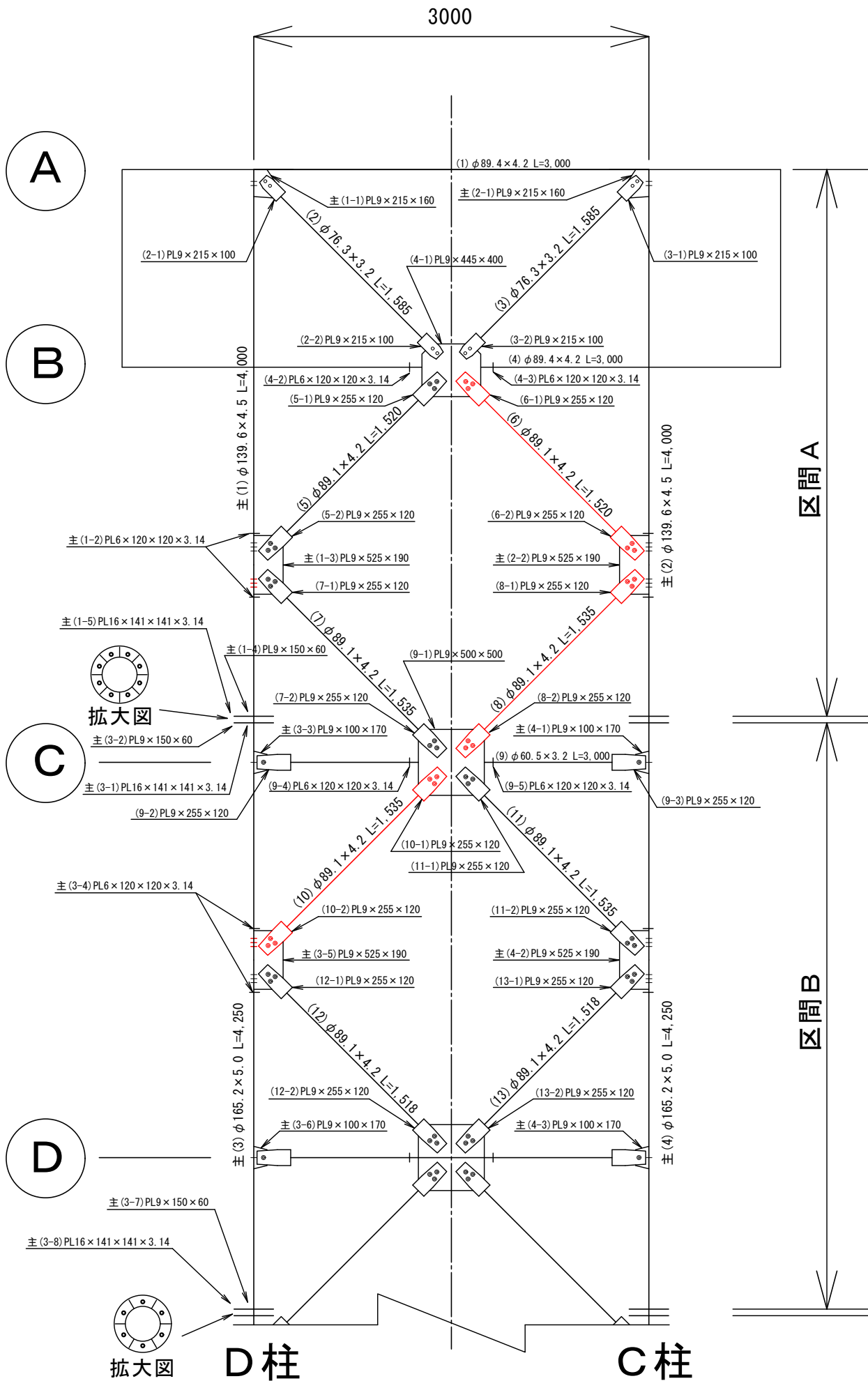


- 注 記
- 1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。
- ボルト記号
- × M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)
－ 鋼材により隠れてしまう等、確認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は － で示す。

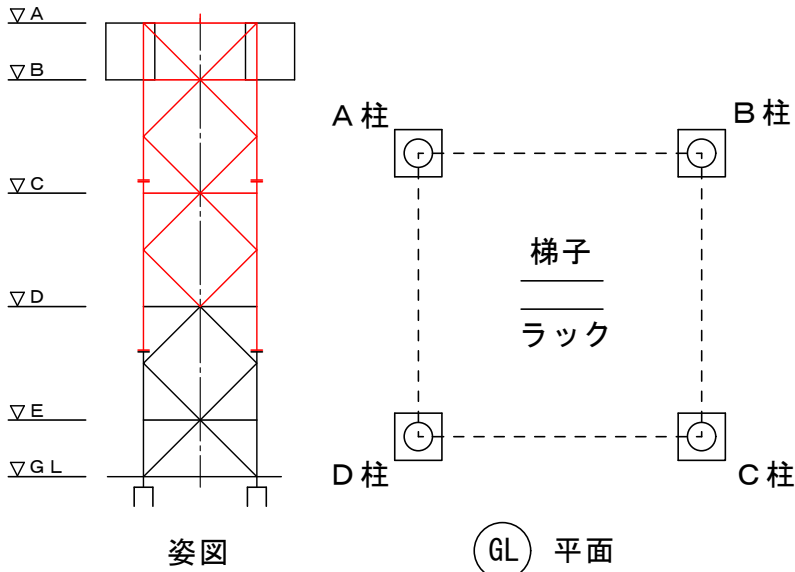
斜材：C柱～B柱

N o .	位 置	部 材	長 さ (mm)	長 面 積 (㎡)	個 数	取 替	ボルト	個 数	取 替
1	A	φ 89. 4×4. 2	3, 000 mm		1	○			
2	A～B	φ 76. 3×3. 2	1, 585 mm		1	○	M16×50	4	○
2-1	"	PL9×215×100	0. 0215 ㎡	1	○				
2-2	"	PL9×215×100	0. 0215 ㎡	1	○				
3	"	φ 76. 3×3. 2	1, 585 mm		1	○	M16×50	4	2
3-1	"	PL9×215×100	0. 0215 ㎡	1	○				
3-2	"	PL9×215×100	0. 0215 ㎡	1	○				
4	B	φ 89. 4×4. 2	3, 000 mm		1	○			
4-1	"	PL9×445×400	0. 178 ㎡	1	○				
4-2	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	1	○				
4-3	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	1	○				
5	B～C上斜材	φ 89. 1×4. 2	1, 520 mm		1	○	M20×60	6	○
5-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
5-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
6	"	φ 89. 1×4. 2	1, 520 mm		1	○	M20×60	6	3
6-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
6-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
7	B～C下斜材	φ 89. 1×4. 2	1, 535 mm		1	○	M20×60	6	○
7-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
7-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
8	"	φ 89. 1×4. 2	1, 535 mm		1	○	M20×60	6	3
8-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
8-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
9	C	φ 60. 5×3. 2	3, 000 mm		1	○			
9-1	"	PL9×500×500	0. 25 ㎡	1	○				
9-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○	M20×60	1	○	
9-3	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○	M20×60	1	○	
9-4	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	1	○				
9-5	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	1	○				
10	C～D上斜材	φ 89. 1×4. 2	1, 535 mm		1	○	M20×60	6	○
10-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
10-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
11	"	φ 89. 1×4. 2	1, 535 mm		1	○	M20×60	6	○
11-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
11-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
12	C～D下斜材	φ 89. 1×4. 2	1, 518 mm		1	○	M20×60	6	○
12-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
12-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	○				
13	"	φ 89. 1×4. 2	1, 518 mm		1	1	M20×60	6	6
13-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	1				
13-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	1				

工事名称	防災行政用無線北都合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	名護市	図面名称	鉄塔構造図 (2)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-08
検 印	照 査 設 計 製 図	施 工 者	



主材：D柱～C柱									
N o .	位 置	部 材	長 寸(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替	
主(1)	区間A	φ 139.8×4.5	4.060 ㎡	1	O				
主(1-1)	"	PL9×215×160	0.0344 ㎡	1	O				
主(1-2)	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	2	O				
主(1-3)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O				
主(1-4)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	8	O				
主(1-5)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O	M20×70(高力)	8	O	
主(2)	"	φ 139.8×4.5	4.060 ㎡	1	O				
主(2-1)	"	PL9×215×160	0.0344 ㎡	1	O				
主(2-2)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O				
主(3)	区間B	φ 165.2×5.0	4.250 ㎡	1	O				
主(3-1)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O				
主(3-2)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	8	O				
主(3-3)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O				
主(3-4)	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	2	O				
主(3-5)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O				
主(3-6)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O				
主(3-7)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	6	O				
主(3-8)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O	M20×70(高力)	6	O	
主(4)	"	φ 165.2×5.0	4.250 ㎡	1	O				
主(4-1)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O				
主(4-2)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O				
主(4-3)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O				



- 注 記
- 1) 指示なきプレートは PL6 とする。
 - 2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
 - 3) 指示なきゲージは F/2 とする。
 - 4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
 - 5) HLは SS540 の山形鋼を示す。
- ボルト記号
- × M12 皿ボルト JIS N、SW付 (SS400)
 - M12 ボルト JIS N、SW付 (SS400)
 - M16 ボルト JIS N、SW付 (SS400)
 - ◎ M20 ボルト JIS N、SW付 (SS490)
 - ⊗ M24 ボルト JIS N、SW付 (SS490)
- 鋼材により隠れてしまう等、確認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — 以示す。

斜材：D柱～C柱									
N o .	位 置	部 材	長 寸(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替	
1	A	φ 89.4×4.2	3.000 ㎡	1	O				
2	A～B	φ 76.3×3.2	1.585 ㎡	1	O	M16×50	4	O	
2-1	"	PL9×215×100	0.0215 ㎡	1	O				
2-2	"	PL9×215×100	0.0215 ㎡	1	O				
3	"	φ 76.3×3.2	1.585 ㎡	1	O	M16×50	4	O	
3-1	"	PL9×215×100	0.0215 ㎡	1	O				
3-2	"	PL9×215×100	0.0215 ㎡	1	O				
4	B	φ 89.4×4.2	3.000 ㎡	1	O				
4-1	"	PL9×445×400	0.178 ㎡	1	O				
4-2	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	O				
4-3	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	O				
5	B～C上斜材	φ 89.1×4.2	1.520 ㎡	1	O	M20×60	6	O	
5-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
5-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
6	"	φ 89.1×4.2	1.520 ㎡	1	1	M20×60	6	6	
6-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1				
6-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1				
7	B～C下斜材	φ 89.1×4.2	1.535 ㎡	1	O	M20×60	6	O	
7-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
7-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
8	"	φ 89.1×4.2	1.535 ㎡	1	1	M20×60	6	6	
8-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1				
8-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1				
9	C	φ 60.5×3.2	3.000 ㎡	1	O				
9-1	"	PL9×500×500	0.25 ㎡	1	O				
9-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O	M20×60	1	O	
9-3	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O	M20×60	1	O	
9-4	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	O				
9-5	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	O				
10	C～D上斜材	φ 89.1×4.2	1.535 ㎡	1	1	M20×60	6	6	
10-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1				
10-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1				
11	"	φ 89.1×4.2	1.535 ㎡	1	O	M20×60	6	O	
11-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
11-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
12	C～D下斜材	φ 89.1×4.2	1.518 ㎡	1	O	M20×60	6	O	
12-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
12-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
13	"	φ 89.1×4.2	1.518 ㎡	1	O	M20×60	6	O	
13-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				
13-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O				

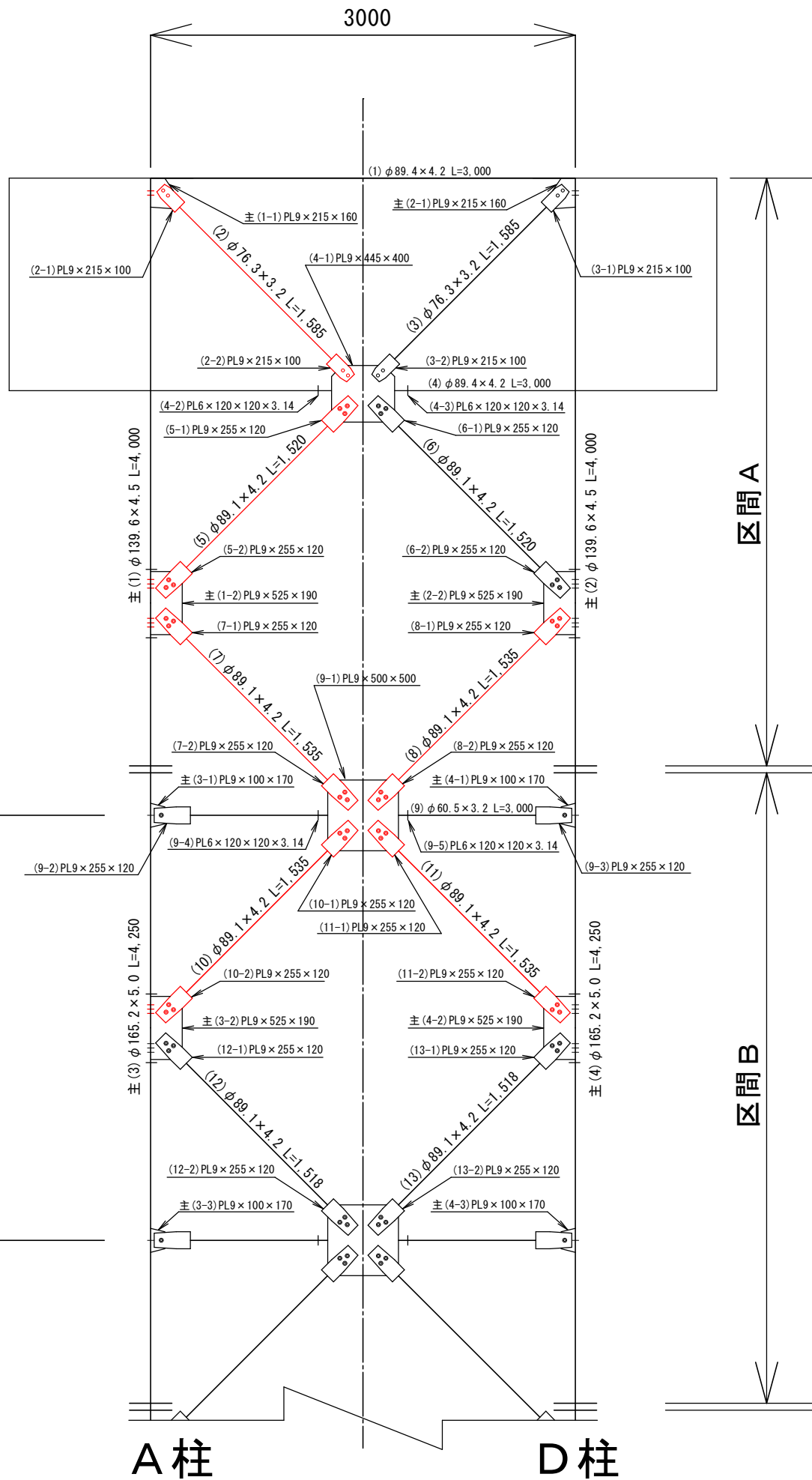
工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	名護市	図面名称	鉄塔構造図 (3)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-09
検 印	照 査 設 計 製 図 施 工 者		

A

B

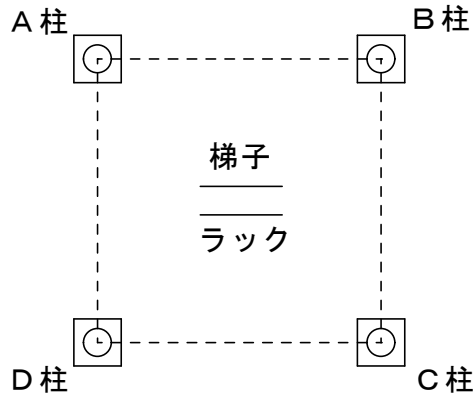
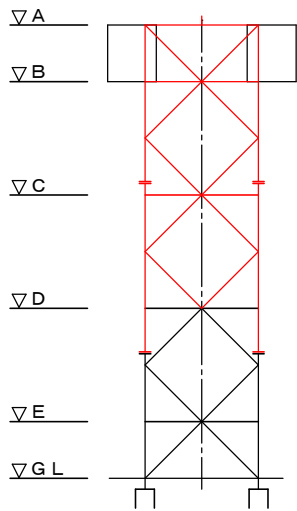
C

D



主材：A柱～D柱

No.	位置	部材	長さ(mm) 面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替
主(1)	区間A	$\phi 139.8 \times 4.5$	4,060 mm	1	O			
主(1-1)	"	PL9 $\times 215 \times 160$	0.0344 m ²	1	O			
主(1-2)	"	PL9 $\times 525 \times 190$	0.0998 m ²	1	O			
主(2)	"	$\phi 139.8 \times 4.5$	4,060 mm	1	O			
主(2-1)	"	PL9 $\times 215 \times 160$	0.0344 m ²	1	O			
主(2-2)	"	PL9 $\times 525 \times 190$	0.0998 m ²	1	O			
主(3)	区間B	$\phi 165.2 \times 5.0$	4,250 mm	1	O			
主(3-1)	"	PL9 $\times 100 \times 170$	0.017 m ²	1	O			
主(3-2)	"	PL9 $\times 525 \times 190$	0.0998 m ²	1	O			
主(3-3)	"	PL9 $\times 100 \times 170$	0.017 m ²	1	O			
主(4)	"	$\phi 165.2 \times 5.0$	4,250 mm	1	O			
主(4-1)	"	PL9 $\times 100 \times 170$	0.017 m ²	1	O			
主(4-2)	"	PL9 $\times 525 \times 190$	0.0998 m ²	1	O			
主(4-3)	"	PL9 $\times 100 \times 170$	0.017 m ²	1	O			



GL 平面

注 記

- 1) 指示なきプレートは PL6 とする。
- 2) 指示なきアングルは L50 $\times$ 6 とする。
- 3) 指示なきゲージは F/2 とする。
- 4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
- 5) H/Lは SS540 の山形鋼を示す。

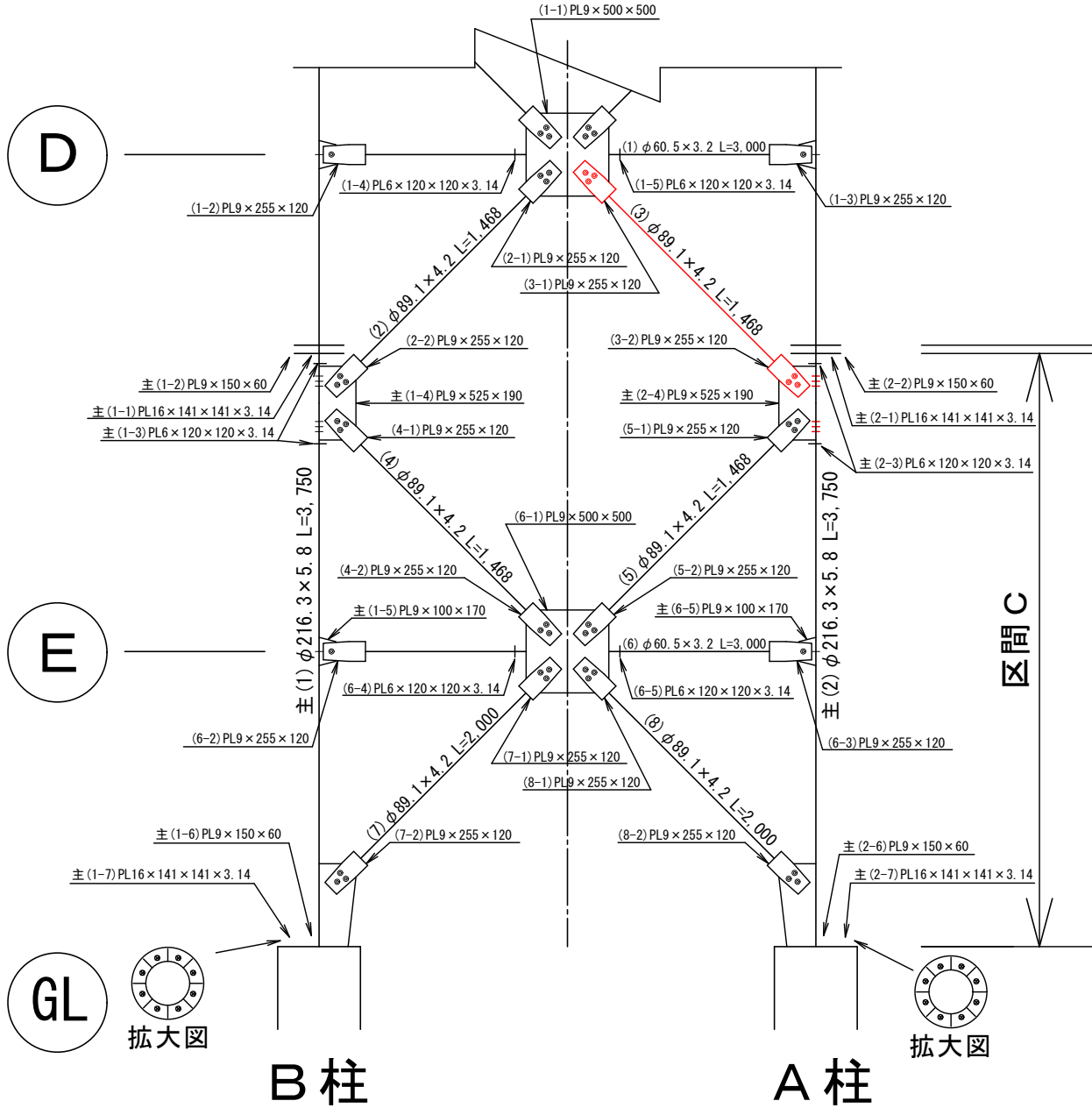
ボルト記号

- × M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
- M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
- M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
- ◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
- ⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)
- 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

斜材：A柱～D柱

No.	位置	部材	長さ(mm) 面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	A	$\phi 89.4 \times 4.2$	3,000 mm	1	O			
2	A～B	$\phi 76.3 \times 3.2$	1,585 mm	1	1	M16 $\times$ 50	4	4
2-1	"	PL9 $\times 215 \times 100$	0.0215 m ²	1	1			
2-2	"	PL9 $\times 215 \times 100$	0.0215 m ²	1	1			
3	"	$\phi 76.3 \times 3.2$	1,585 mm	1	O	M16 $\times$ 50	4	O
3-1	"	PL9 $\times 215 \times 100$	0.0215 m ²	1	O			
3-2	"	PL9 $\times 215 \times 100$	0.0215 m ²	1	O			
4	B	$\phi 89.4 \times 4.2$	3,000 mm	1	O			
4-1	"	PL9 $\times 445 \times 400$	0.178 m ²	1	O			
4-2	"	PL6 $\times 120 \times 120 \times 3.14$	0.0452 m ²	1	O			
4-3	"	PL6 $\times 120 \times 120 \times 3.14$	0.0452 m ²	1	O			
5	B～C上斜材	$\phi 89.1 \times 4.2$	1,520 mm	1	1	M20 $\times$ 60	6	6
5-1	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
5-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
6	"	$\phi 89.1 \times 4.2$	1,520 mm	1	O	M20 $\times$ 60	6	O
6-1	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	O			
6-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	O			
7	B～C下斜材	$\phi 89.1 \times 4.2$	1,535 mm	1	1	M20 $\times$ 60	6	6
7-1	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
7-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
8	"	$\phi 89.1 \times 4.2$	1,535 mm	1	1	M20 $\times$ 60	6	6
8-1	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
8-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
9	C	$\phi 60.5 \times 3.2$	3,000 mm	1	O			
9-1	"	PL9 $\times 500 \times 500$	0.25 m ²	1	O			
9-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	O	M20 $\times$ 60	1	O
9-3	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	O	M20 $\times$ 60	1	O
9-4	"	PL6 $\times 120 \times 120 \times 3.14$	0.0452 m ²	1	O			
9-5	"	PL6 $\times 120 \times 120 \times 3.14$	0.0452 m ²	1	O			
10	C～D上斜材	$\phi 89.1 \times 4.2$	1,535 mm	1	1	M20 $\times$ 60	6	6
10-1	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
10-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
11	"	$\phi 89.1 \times 4.2$	1,535 mm	1	1	M20 $\times$ 60	6	6
11-1	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
11-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	1			
12	C～D下斜材	$\phi 89.1 \times 4.2$	1,518 mm	1	O	M20 $\times$ 60	6	O
12-1	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	O			
12-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	O			
13	"	$\phi 89.1 \times 4.2$	1,518 mm	1	O	M20 $\times$ 60	6	O
13-1	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	O			
13-2	"	PL9 $\times 255 \times 120$	0.0306 m ²	1	O			

工事名称	防災行政用無線本部合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度	
工事場所	名護市			図面名称	鉄塔構造図(4)	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/20	
摘 要				図面番号	A-10	
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者		

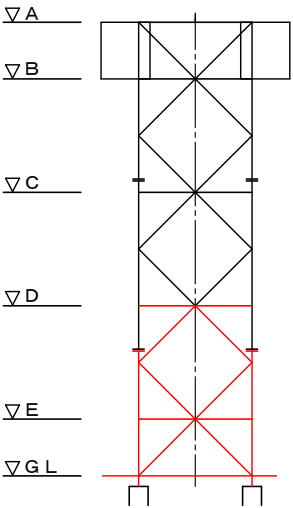


主材：B柱～A柱

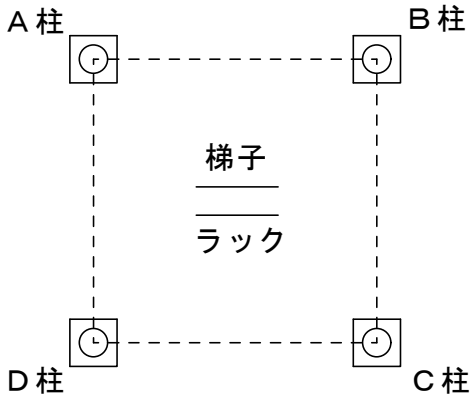
N o .	位 置	部 材	長 さ(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
主 (1)	区間 C	φ 216. 3 × 5. 8	3, 750 mm	1	○			
主 (1-1)	〃	PL16 × 141 × 141 × 3. 14	0. 0624 ㎡	1	○			
主 (1-2)	〃	PL9 × 150 × 60	0. 009 ㎡	6	○			
主 (1-3)	〃	PL6 × 120 × 120 × 3. 14	0. 0452 ㎡	2	○			
主 (1-4)	〃	PL9 × 525 × 190	0. 0998 ㎡	1	○			
主 (1-5)	〃	PL9 × 100 × 170	0. 017 ㎡	1	○			
主 (1-6)	〃	PL9 × 150 × 60	0. 009 ㎡	8	○			
主 (1-7)	〃	PL16 × 141 × 141 × 3. 14	0. 0624 ㎡	1	○	M24 × 70 (高力)	8	○
主 (2)	〃	φ 216. 3 × 5. 8	3, 750 mm	1	○			
主 (2-1)	〃	PL16 × 141 × 141 × 3. 14	0. 0624 ㎡	1	○			
主 (2-2)	〃	PL9 × 150 × 60	0. 009 ㎡	6	○			
主 (2-3)	〃	PL6 × 120 × 120 × 3. 14	0. 0452 ㎡	2	○			
主 (2-4)	〃	PL9 × 525 × 190	0. 0998 ㎡	1	○			
主 (2-5)	〃	PL9 × 100 × 170	0. 017 ㎡	1	○			
主 (2-6)	〃	PL9 × 150 × 60	0. 009 ㎡	8	○			
主 (2-7)	〃	PL16 × 141 × 141 × 3. 14	0. 0624 ㎡	1	○	M24 × 70 (高力)	8	○

斜材：B柱～A柱

N o .	位 置	部 材	長 さ(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	D	φ 60. 5 × 3. 2	3, 000 mm	1	○			
1-1	〃	PL9 × 500 × 500	0. 25 ㎡	1	○			
1-2	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○	M20 × 60	1	○
1-3	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○	M20 × 60	1	○
1-4	〃	PL6 × 120 × 120 × 3. 14	0. 0452 ㎡	1	○			
1-5	〃	PL6 × 120 × 120 × 3. 14	0. 0452 ㎡	1	○			
2	D ～ E 上斜材	φ 89. 1 × 4. 2	1, 468 mm	1	○	M20 × 60	6	○
2-1	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
2-2	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
3	〃	φ 89. 1 × 4. 2	1, 468 mm	1	1	M20 × 60	6	6
3-1	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	1			
3-2	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	1			
4	D ～ E 下斜材	φ 89. 1 × 4. 2	1, 468 mm	1	○	M20 × 60	6	○
4-1	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
4-2	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
5	〃	φ 89. 1 × 4. 2	1, 468 mm	1	○	M20 × 60	6	○
5-1	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
5-2	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
6	E	φ 60. 5 × 3. 2	3, 000 mm	1	○			
6-1	〃	PL9 × 500 × 500	0. 25 ㎡	1	○			
6-2	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○	M20 × 60	1	○
6-3	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○	M20 × 60	1	○
6-4	〃	PL6 × 120 × 120 × 3. 14	0. 0452 ㎡	1	○			
6-5	〃	PL6 × 120 × 120 × 3. 14	0. 0452 ㎡	1	○			
7	E ～ G L	φ 89. 1 × 4. 2	2, 000 mm	1	○	M20 × 60	6	○
7-1	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
7-2	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
8	〃	φ 89. 1 × 4. 2	2, 000 mm	1	○	M20 × 60	6	○
8-1	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			
8-2	〃	PL9 × 255 × 120	0. 0306 ㎡	1	○			



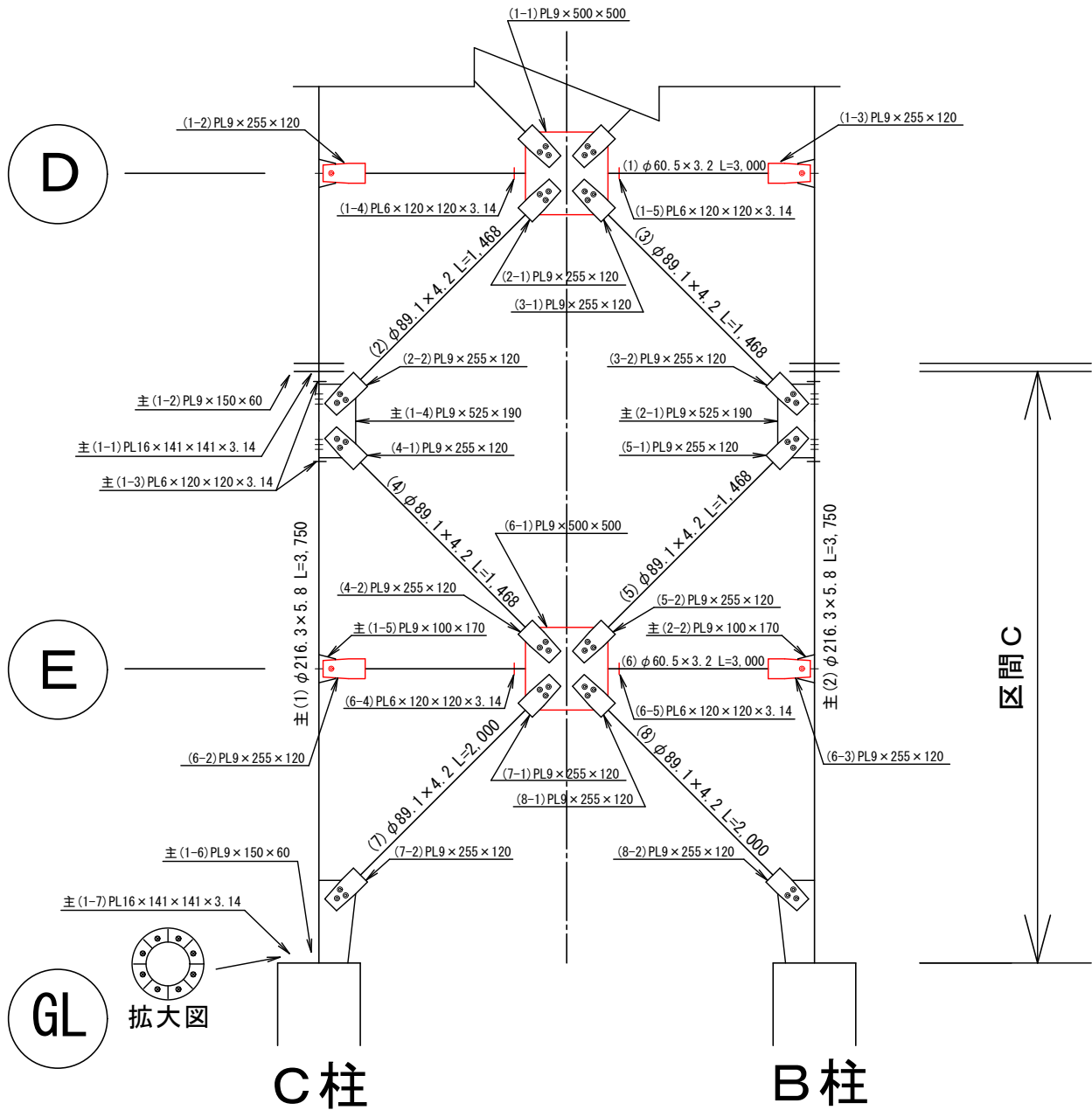
姿図



GL 平面

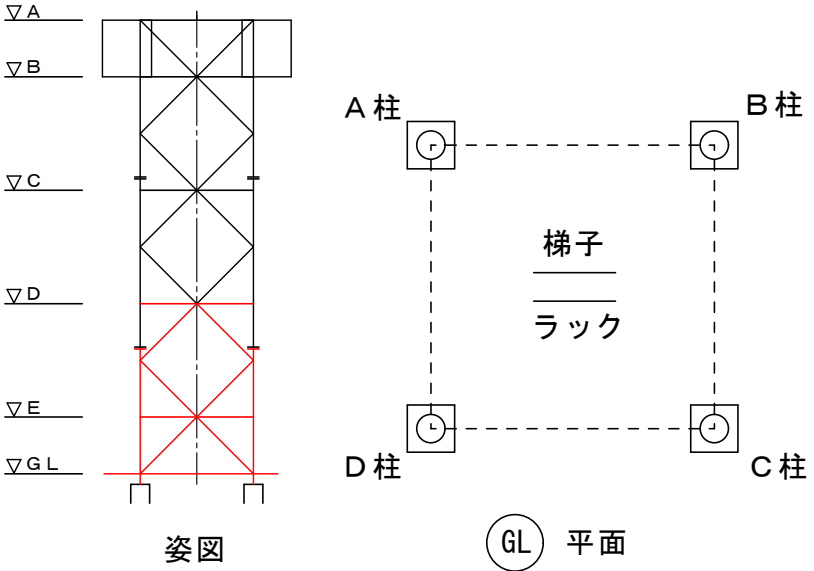
註 記
1) 指示なきプレートは PL 6 とする。
2) 指示なきアングルは L 50 × 6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS 400、STK 400 とする。
5) HL は SS 540 の山形鋼を示す。
ボルト記号
× M12 皿ボルト JIS N. SW 付 (SS 400)
● M12 ボルト JIS N. SW 付 (SS 400)
○ M16 ボルト JIS N. SW 付 (SS 400)
◎ M20 ボルト JIS N. SW 付 (SS 490)
⊗ M24 ボルト JIS N. SW 付 (SS 490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	名護市	図面名称	鉄塔構造図 (5)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要	照 査 設 計 製 図	図面番号	A-11
検 印		施 工 者	



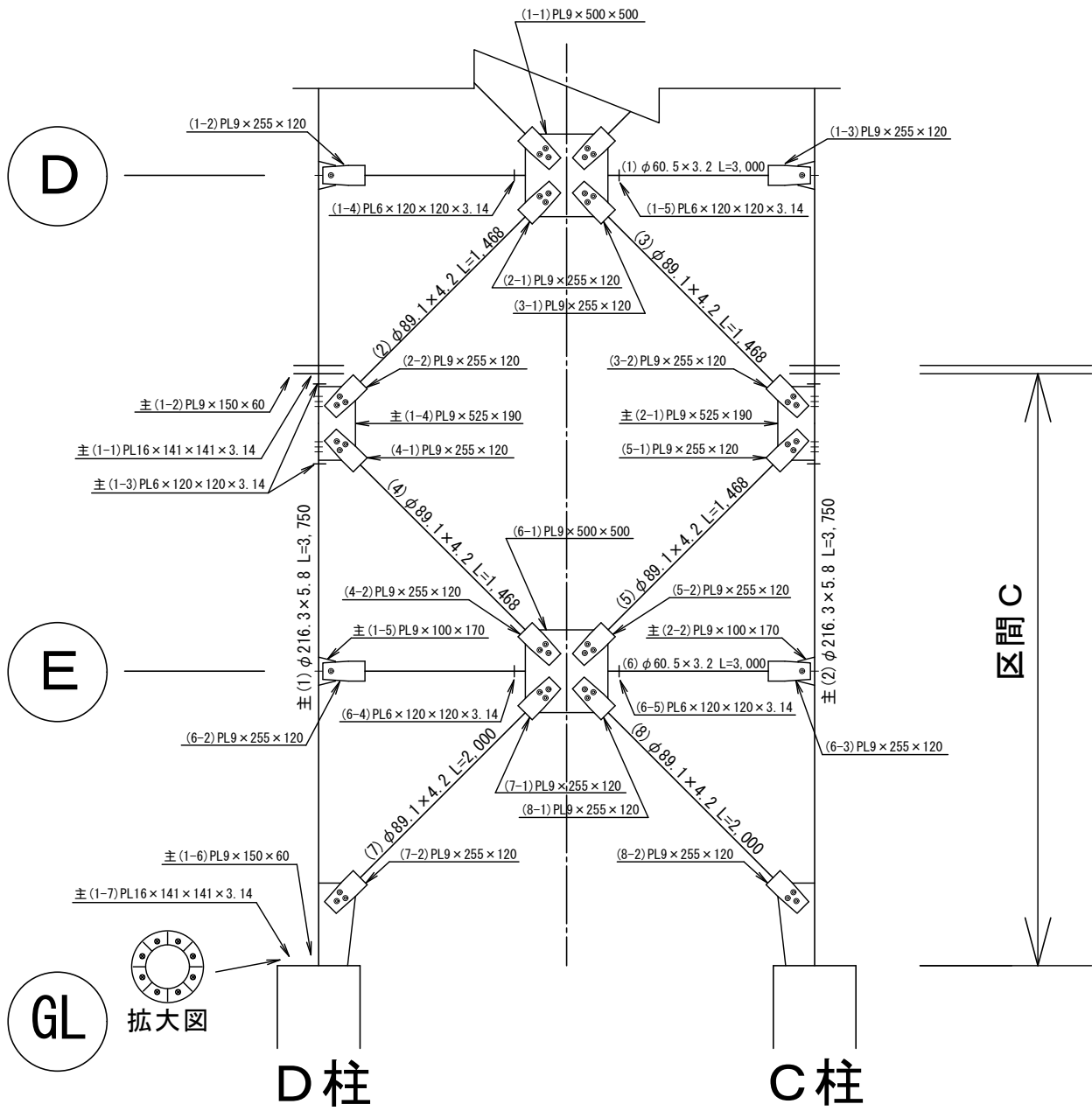
主材：C柱～B柱								
N o .	位 置	部 材	長 さ(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
主 (1)	区間C	φ216.3×5.8	3,750 mm	1	O			
主 (1-1)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O			
主 (1-2)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	6	O			
主 (1-3)	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	2	O			
主 (1-4)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O			
主 (1-5)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O			
主 (1-6)	"	PL9×150×60	0.009 ㎡	8	O			
主 (1-7)	"	PL16×141×141×3.14	0.0624 ㎡	1	O	M24×70 (高力)	8	O
主 (2)	"	φ216.3×5.8	3,750 mm	1	O			
主 (2-1)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O			
主 (2-2)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O			

斜材：C柱～B柱								
N o .	位 置	部 材	長 さ(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	D	φ60.5×3.2	3,000 mm	1	O			
1-1	"	PL9×500×500	0.25 ㎡	1	1			
1-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1	M20×60	1	1
1-3	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1	M20×60	1	1
1-4	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	1			
1-5	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	1			
2	D～E上斜材	φ89.1×4.2	1,468 mm	1	O	M20×60	6	O
2-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
2-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
3	"	φ89.1×4.2	1,468 mm	1	O	M20×60	6	O
3-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
3-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
4	D～E下斜材	φ89.1×4.2	1,468 mm	1	O	M20×60	6	O
4-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
4-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
5	"	φ89.1×4.2	1,468 mm	1	O	M20×60	6	O
5-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
5-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
6	E	φ60.5×3.2	3,000 mm	1	O			
6-1	"	PL9×500×500	0.25 ㎡	1	1			
6-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1	M20×60	1	1
6-3	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1	M20×60	1	1
6-4	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	1			
6-5	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	1			
7	E～G L	φ89.1×4.2	2,000 mm	1	O	M20×60	6	O
7-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
7-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
8	"	φ89.1×4.2	2,000 mm	1	O	M20×60	6	O
8-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
8-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			



注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。
ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N、SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N、SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N、SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N、SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N、SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度	
工事場所	名護市			図面名称	鉄塔構造図 (6)	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/20	
摘 要				図面番号	A-12	
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者		

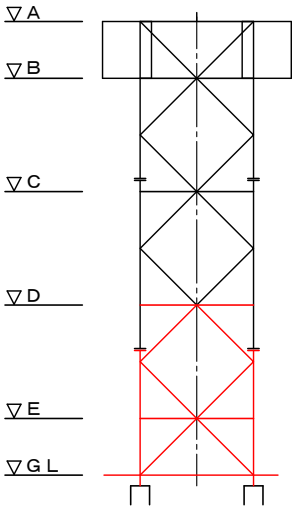


主材：D柱～C柱

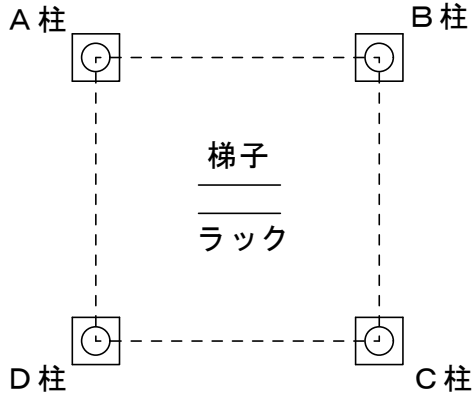
N o .	位 置	部 材	長 さ(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
主 (1)	区間 C	φ 216. 3×5. 8	3, 750 mm	1	O			
主 (1-1)	"	PL16×141×141×3. 14	0. 0624 ㎡	1	O			
主 (1-2)	"	PL9×150×60	0. 009 ㎡	6	O			
主 (1-3)	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	2	O			
主 (1-4)	"	PL9×525×190	0. 0998 ㎡	1	O			
主 (1-5)	"	PL9×100×170	0. 017 ㎡	1	O			
主 (1-6)	"	PL9×150×60	0. 009 ㎡	8	O			
主 (1-7)	"	PL16×141×141×3. 14	0. 0624 ㎡	1	O	M24×70 (高力)	8	O
主 (2)	"	φ 216. 3×5. 8	3, 750 mm	1	O			
主 (2-1)	"	PL9×525×190	0. 0998 ㎡	1	O			
主 (2-2)	"	PL9×100×170	0. 017 ㎡	1	O			

斜材：D柱～C柱

N o .	位 置	部 材	長 さ(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	D	φ 60. 5×3. 2	3, 000 mm	1	O			
1-1	"	PL9×500×500	0. 25 ㎡	1	O			
1-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O	M20×60	1	O
1-3	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O	M20×60	1	O
1-4	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	1	O			
1-5	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	1	O			
2	D～E 上斜材	φ 89. 1×4. 2	1, 468 mm	1	O	M20×60	6	O
2-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
2-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
3	"	φ 89. 1×4. 2	1, 468 mm	1	O	M20×60	6	O
3-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
3-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
4	D～E 下斜材	φ 89. 1×4. 2	1, 468 mm	1	O	M20×60	6	O
4-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
4-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
5	"	φ 89. 1×4. 2	1, 468 mm	1	O	M20×60	6	O
5-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
5-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
6	E	φ 60. 5×3. 2	3, 000 mm	1	O			
6-1	"	PL9×500×500	0. 25 ㎡	1	O			
6-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O	M20×60	1	O
6-3	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O	M20×60	1	O
6-4	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	1	O			
6-5	"	PL6×120×120×3. 14	0. 0452 ㎡	1	O			
7	E～G L	φ 89. 1×4. 2	2, 000 mm	1	O	M20×60	6	O
7-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
7-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
8	"	φ 89. 1×4. 2	2, 000 mm	1	O	M20×60	6	O
8-1	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			
8-2	"	PL9×255×120	0. 0306 ㎡	1	O			



姿図



GL 平面

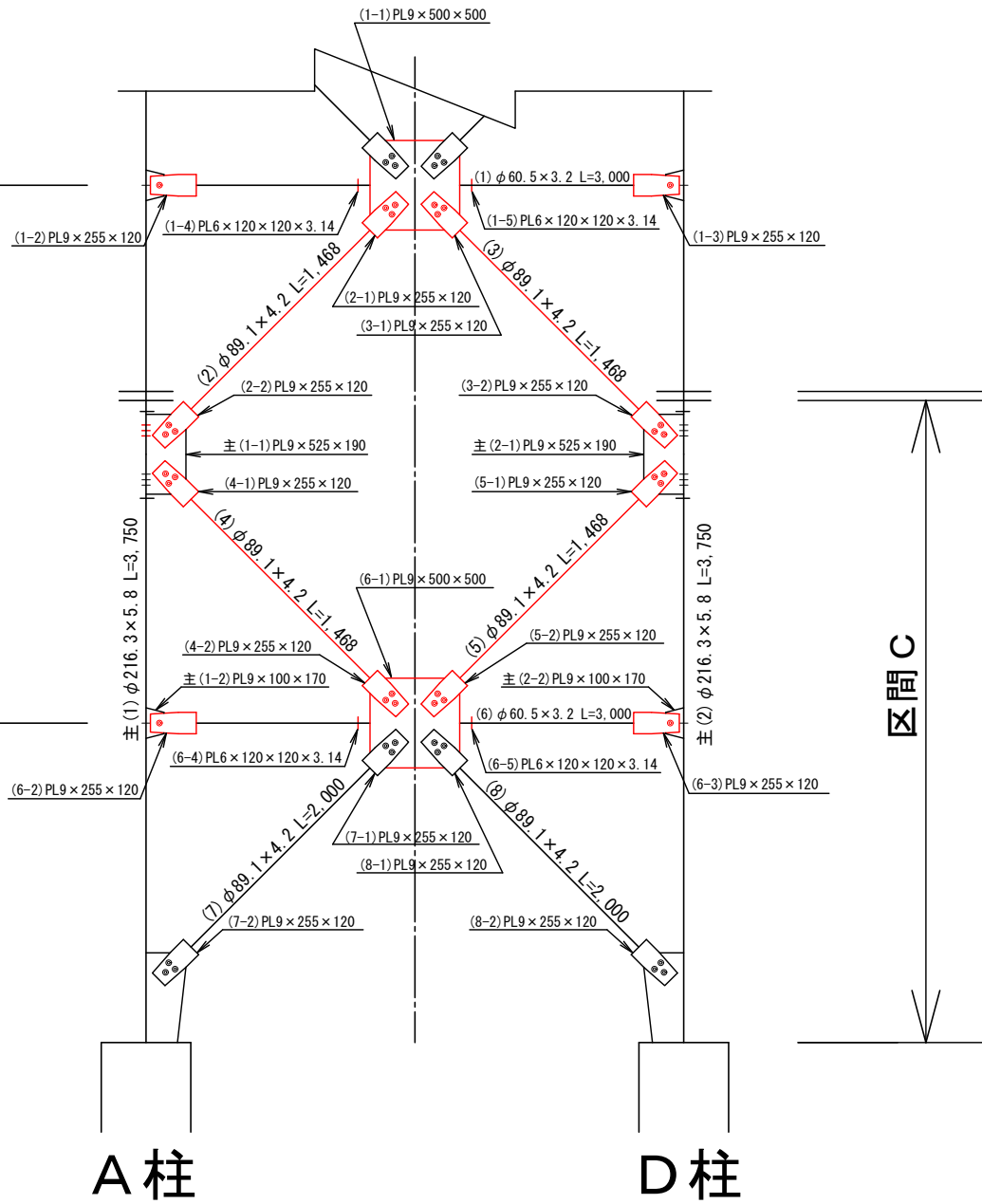
注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。
ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N、SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N、SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N、SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N、SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N、SW付 (SS490)
－ 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は － で示す。

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	名護市	図面名称	鉄塔構造図 (7)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-13
検 印	照 査 設 計 製 図	施 工 者	

D

E

GL

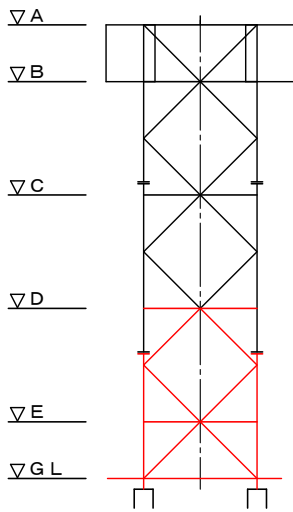


主材：A柱～D柱

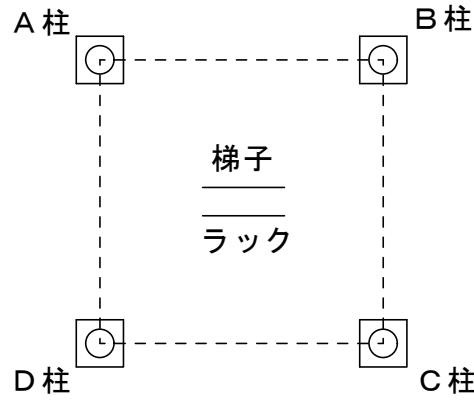
N o .	位 置	部 材	長 さ(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
主 (1)	区間 C	φ 216.3×5.8	3,750 mm	1	O			
主 (1-1)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O			
主 (1-2)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O			
主 (2)	"	φ 216.3×5.8	3,750 mm	1	O			
主 (2-1)	"	PL9×525×190	0.0998 ㎡	1	O			
主 (2-2)	"	PL9×100×170	0.017 ㎡	1	O			

斜材：A柱～D柱

N o .	位 置	部 材	長 さ(mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	D	φ 60.5×3.2	3,000 mm	1	O			
1-1	"	PL9×500×500	0.25 ㎡	1	1			
1-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1	M20×60	1	1
1-3	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1	M20×60	1	1
1-4	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	1			
1-5	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	1			
2	D～E上斜材	Φ 89.1×4.2	1,468 mm	1	1	M20×60	6	6
2-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
2-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
3	"	Φ 89.1×4.2	1,468 mm	1	1	M20×60	6	6
3-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
3-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
4	D～E下斜材	Φ 89.1×4.2	1,468 mm	1	1	M20×60	6	6
4-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
4-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
5	"	Φ 89.1×4.2	1,468 mm	1	1	M20×60	6	6
5-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
5-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1			
6	E	φ 60.5×3.2	3,000 mm	1	O			
6-1	"	PL9×500×500	0.25 ㎡	1	1			
6-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1	M20×60	1	1
6-3	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	1	M20×60	1	1
6-4	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	1			
6-5	"	PL6×120×120×3.14	0.0452 ㎡	1	1			
7	E～G L	Φ 89.1×4.2	2,000 mm	1	O	M20×60	6	O
7-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
7-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
8	"	φ 89.1×4.2	2,000 mm	1	O	M20×60	6	O
8-1	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			
8-2	"	PL9×255×120	0.0306 ㎡	1	O			



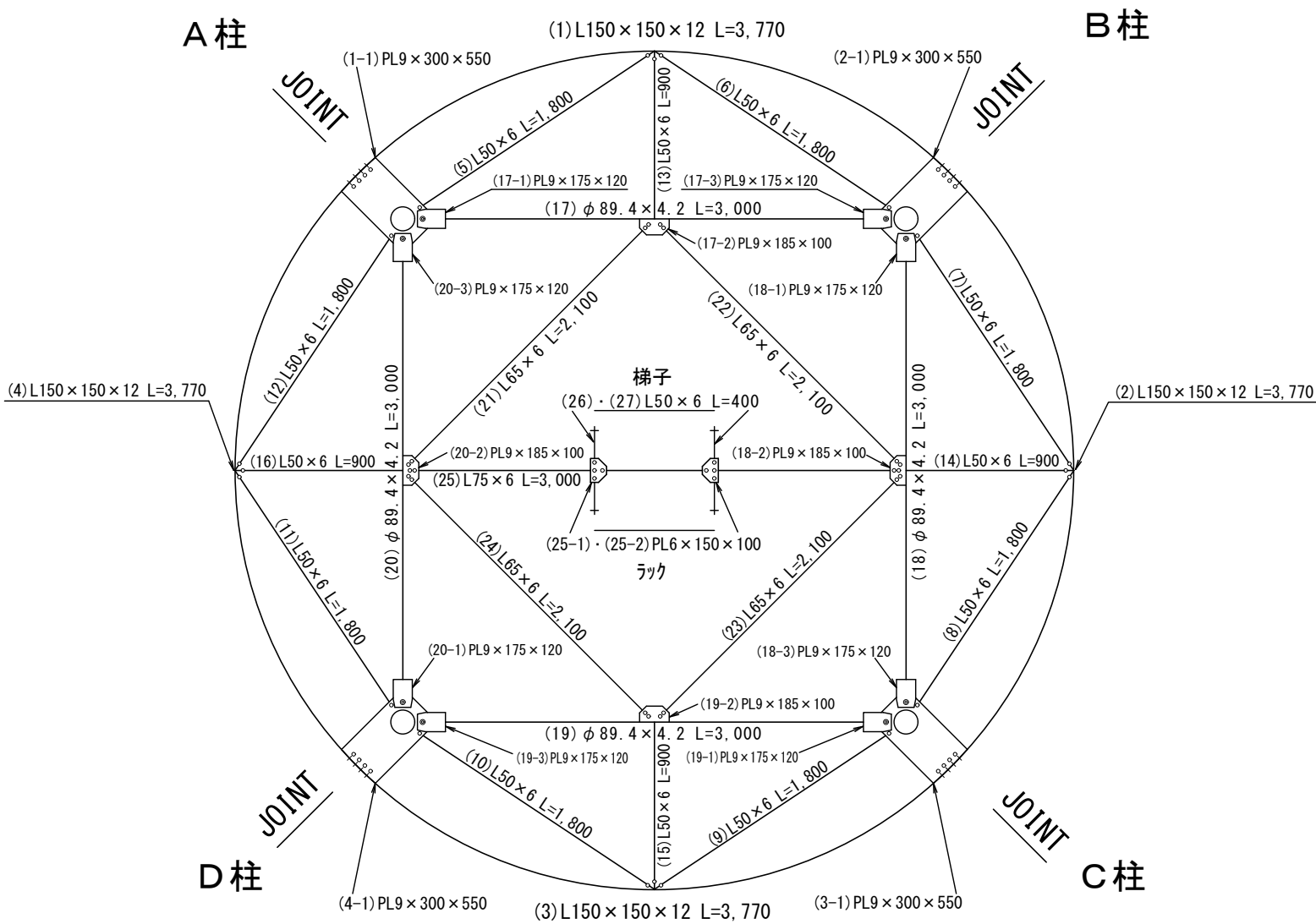
姿図



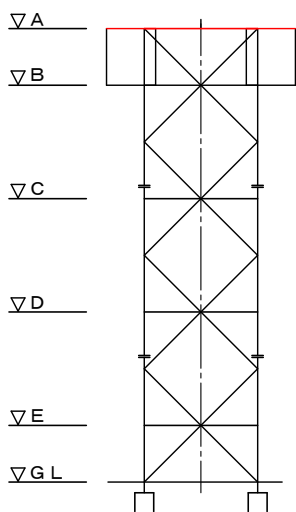
GL 平面

- 註 記
- 1) 指示なきプレートは PL 6 とする。
 - 2) 指示なきアングルは L 50×6 とする。
 - 3) 指示なきゲージは F/2 とする。
 - 4) 指示なき部材の材質は SS 400、STK 400 とする。
 - 5) H L は SS 540 の山形鋼を示す。
- ボルト記号
- × M 12 皿ボルト J I S N. S W 付 (SS 400)
 - M 12 ボルト J I S N. S W 付 (SS 400)
 - M 16 ボルト J I S N. S W 付 (SS 400)
 - ◎ M 20 ボルト J I S N. S W 付 (SS 490)
 - ⊗ M 24 ボルト J I S N. S W 付 (SS 490)
- 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	名護市	図面名称	鉄塔構造図 (8)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要	図面番号 A-14		
検 印	照 査	設 計	製 図
			施 工 者



A 平面



姿図

注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N、SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N、SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N、SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N、SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N、SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所はボルトが取り付けられている場合は — で示す。

水 平 材								
N o .	位 置	部 材	長 面 積 (mm) 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	A 平面	L150×150×12	3,770 mm	1	○	M16×50	8	○
1-1	〃	PL9×300×550	0.165 ㎡	1	○			
2	〃	L150×150×12	3,770 mm	1	○	M16×50	8	○
2-1	〃	PL9×300×550	0.165 ㎡	1	○			
3	〃	L150×150×12	3,770 mm	1	○	M16×50	8	○
3-1	〃	PL9×300×550	0.165 ㎡	1	○			
4	〃	L150×150×12	3,770 mm	1	○	M16×50	8	○
4-1	〃	PL9×300×550	0.165 ㎡	1	○			
5	〃	L50×6	1,800 mm	1	○	M16×40	2	○
6	〃	L50×6	1,800 mm	1	○	M16×40	2	○
7	〃	L50×6	1,800 mm	1	○	M16×40	2	○
8	〃	L50×6	1,800 mm	1	○	M16×40	2	○
9	〃	L50×6	1,800 mm	1	○	M16×40	2	○
10	〃	L50×6	1,800 mm	1	○	M16×40	2	○
11	〃	L50×6	1,800 mm	1	○	M16×40	2	○
12	〃	L50×6	1,800 mm	1	○	M16×40	2	○
13	〃	L50×6	900 mm	1	○	M16×40	1	○
14	〃	L50×6	900 mm	1	○	M16×40	1	○
15	〃	L50×6	900 mm	1	○	M16×40	1	○
16	〃	L50×6	900 mm	1	○	M16×40	1	○
17	〃	φ89.4×4.2	3,000 mm	1	○	M20×50	2	○
17-1	〃	PL9×175×120	0.021 ㎡	1	○			
17-2	〃	PL9×185×100	0.0185 ㎡	1	○			
17-3	〃	PL9×175×120	0.021 ㎡	1	○			
18	〃	φ89.4×4.2	3,000 mm	1	○	M20×50	2	○
18-1	〃	PL9×175×120	0.021 ㎡	1	○			
18-2	〃	PL9×185×100	0.0185 ㎡	1	○			
18-3	〃	PL9×175×120	0.021 ㎡	1	○			
19	〃	φ89.4×4.2	3,000 mm	1	○	M20×50	2	○
19-1	〃	PL9×175×120	0.021 ㎡	1	○			
19-2	〃	PL9×185×100	0.0185 ㎡	1	○			
19-3	〃	PL9×175×120	0.021 ㎡	1	○			
20	〃	φ89.4×4.2	3,000 mm	1	○	M20×50	2	○
20-1	〃	PL9×175×120	0.021 ㎡	1	○			
20-2	〃	PL9×185×100	0.0185 ㎡	1	○			
20-3	〃	PL9×175×120	0.021 ㎡	1	○			
21	〃	L65×6	2,100 mm	1	○	M16×50	4	○
22	〃	L65×6	2,100 mm	1	○	M16×50	4	○
23	〃	L65×6	2,100 mm	1	○	M16×50	4	○
24	〃	L65×6	2,100 mm	1	○	M16×50	4	○
25	〃	L75×6	3,000 mm	1	○	M16×50	8	○
25-1	〃	PL6×150×100	0.015 ㎡	1	○			
25-2	〃	PL6×150×100	0.015 ㎡	1	○			
26	〃	L50×6	400 mm	1	○	M16×50	2	○
27	〃	L50×6	400 mm	1	○	M16×50	2	○

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度		
工事場所	名護市			図面名称	鉄塔構造図(9)		
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/20		
摘 要				図面番号	A-15		
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者			



註 記

- 1) 指示なきプレートは PL 6 とする。
- 2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
- 3) 指示なきゲージは F/2 とする。
- 4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
- 5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

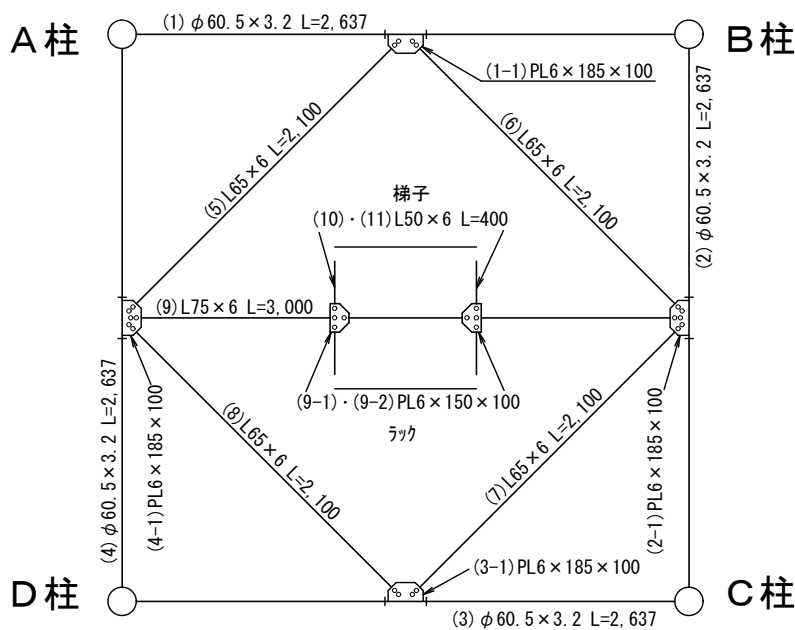
ボルト記号

×	M12 直孔ボルト	JIS	N	SWT	(SS400)
●	M12 平孔ボルト	JIS	N	SWT	(SS400)
○	M16 平孔ボルト	JIS	N	SWT	(SS400)
◎	M20 平孔ボルト	JIS	N	SWT	(SS400)
⊙	M24 平孔ボルト	JIS	N	SWT	(SS400)

○ 鋼材より引抜れてしまった等、視認できない箇所にはボルトが取り付けられていない場合は、○で示す。

水 平 材								
N o .	位 置	部 材	長 面 さ (mm) 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	B 平面	L150×150×12	3, 770 mm	1	○	M16×50	8	○
1-1	"	PL9×300×550	0. 165 ㎡	1	○			
2	"	L150×150×12	3, 770 mm	1	○	M16×50	8	○
2-1	"	PL9×300×550	0. 165 ㎡	1	○			
3	"	L150×150×12	3, 770 mm	1	○	M16×50	8	○
3-1	"	PL9×300×550	0. 165 ㎡	1	○			
4	"	L150×150×12	3, 770 mm	1	○	M16×50	8	○
4-1	"	PL9×300×550	0. 165 ㎡	1	○			
5	"	L50×6	1, 800 mm	1	○	M16×40	2	○
6	"	L50×6	1, 800 mm	1	○	M16×40	2	○
7	"	L50×6	1, 800 mm	1	○	M16×40	2	○
8	"	L50×6	1, 800 mm	1	○	M16×40	2	○
9	"	L50×6	1, 800 mm	1	○	M16×40	2	○
1 0	"	L50×6	1, 800 mm	1	○	M16×40	2	○
1 1	"	L50×6	1, 800 mm	1	○	M16×40	2	○
1 2	"	L50×6	1, 800 mm	1	○	M16×40	2	○
1 3	"	L50×6	900 mm	1	○	M16×40	1	○
1 4	"	L50×6	900 mm	1	○	M16×40	1	○
1 5	"	L50×6	900 mm	1	○	M16×40	1	○
1 6	"	L50×6	900 mm	1	○	M16×40	1	○
1 7	"	φ89. 4×4. 2	3, 000 mm	1	○	M20×50	2	○
17-1	"	PL9×175×120	0. 021 ㎡	1	○			
17-2	"	PL9×185×100	0. 0185 ㎡	1	○			
17-3	"	PL9×175×120	0. 021 ㎡	1	○			
1 8	"	φ89. 4×4. 2	3, 000 mm	1	○	M20×50	2	○
18-1	"	PL9×175×120	0. 021 ㎡	1	○			
18-2	"	PL9×185×100	0. 0185 ㎡	1	○			
18-3	"	PL9×175×120	0. 021 ㎡	1	○			
1 9	"	φ89. 4×4. 2	3, 000 mm	1	○	M20×50	2	○
19-1	"	PL9×175×120	0. 021 ㎡	1	○			
19-2	"	PL9×185×100	0. 0185 ㎡	1	○			
19-3	"	PL9×175×120	0. 021 ㎡	1	○			
2 0	"	φ89. 4×4. 2	3, 000 mm	1	○	M20×50	2	○
20-1	"	PL9×175×120	0. 021 ㎡	1	○			
20-2	"	PL9×185×100	0. 0185 ㎡	1	○			
20-3	"	PL9×175×120	0. 021 ㎡	1	○			
2 1	"	L65×6	2, 100 mm	1	○	M16×50	4	○
2 2	"	L65×6	2, 100 mm	1	○	M16×50	4	○
2 3	"	L65×6	2, 100 mm	1	○	M16×50	4	○
2 4	"	L65×6	2, 100 mm	1	○	M16×50	4	○
2 5	"	L75×6	3, 000 mm	1	○	M16×50	8	○
25-1	"	PL6×150×100	0. 015 ㎡	1	○			
25-2	"	PL6×150×100	0. 015 ㎡	1	○			
2 6	"	L50×6	400 mm	1	○	M16×50	2	○
2 7	"	L50×6	400 mm	1	○	M16×50	2	○

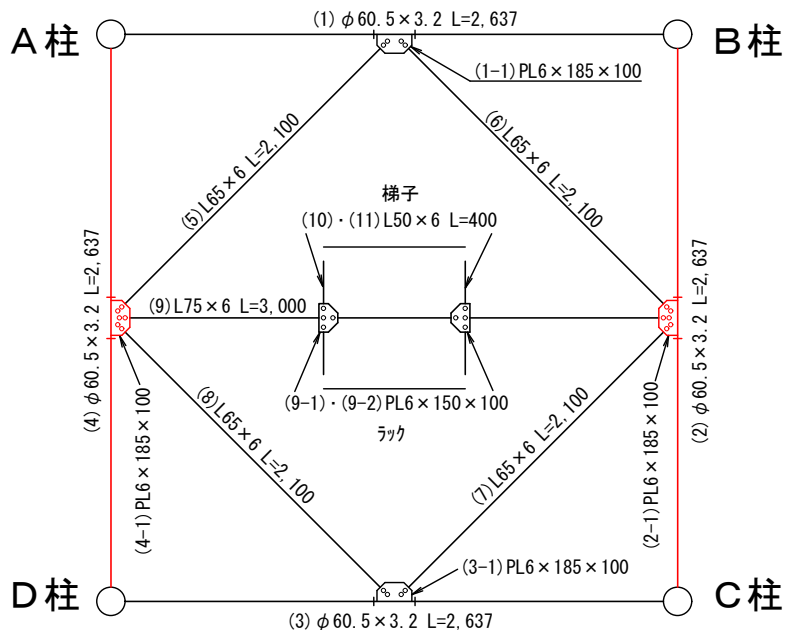
工事名称	防災行政用無線之部合同庁舎中樞局放送改修工事		工事年度	令和8年度	
工事場所	名護市		図面名称	鉄塔構造図 (10)	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課		縮 尺	1/20, 1/40	
摘 要			図面番号	A-16	
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者	



C 平面

水平材

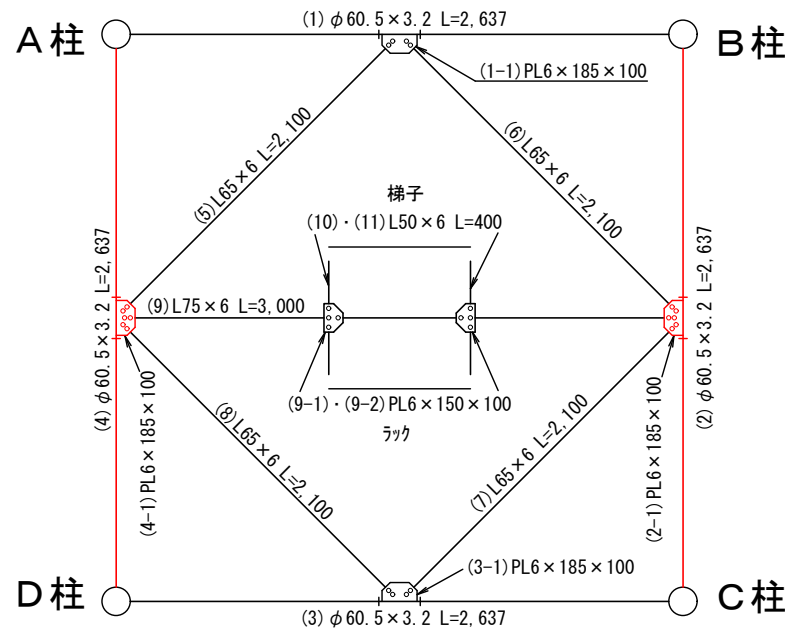
N o .	位 置	部 材	長 さ (mm) 面 積 (㎡)	個 数	取 替	ボ ル ト	個 数	取 替
1	C 平面	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	O	M16 × 40	4	O
1-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	O			
2	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	O	M16 × 40	6	O
2-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	O			
3	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	O	M16 × 40	4	O
3-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	O			
4	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	O	M16 × 40	6	O
4-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	O			
5	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
6	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
7	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
8	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
9	"	L75 × 6	3,000 mm	1	O	M16 × 40	4	O
9-1	"	PL6 × 150 × 100	0.015 mm	1	O			
9-2	"	PL6 × 150 × 100	0.015 mm	1	O			
1 O	"	L50 × 6	400 mm	1	O	M16 × 40	2	O
1 1	"	L50 × 6	400 mm	1	O	M16 × 40	2	O



D 平面

水平材

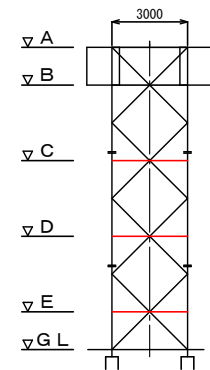
N o .	位 置	部 材	長 さ (mm) 面 積 (㎡)	個 数	取 替	ボ ル ト	個 数	取 替
1	D 平面	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	O	M16 × 40	4	O
1-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	O			
2	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	1	M16 × 40	6	6
2-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	1			
3	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	O	M16 × 40	4	O
3-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	O			
4	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	1	M16 × 40	6	6
4-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	1			
5	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
6	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
7	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
8	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
9	"	L75 × 6	3,000 mm	1	O	M16 × 40	4	O
9-1	"	PL6 × 150 × 100	0.015 mm	1	O			
9-2	"	PL6 × 150 × 100	0.015 mm	1	O			
1 O	"	L50 × 6	400 mm	1	O	M16 × 40	2	O
1 1	"	L50 × 6	400 mm	1	O	M16 × 40	2	O



E 平面

水平材

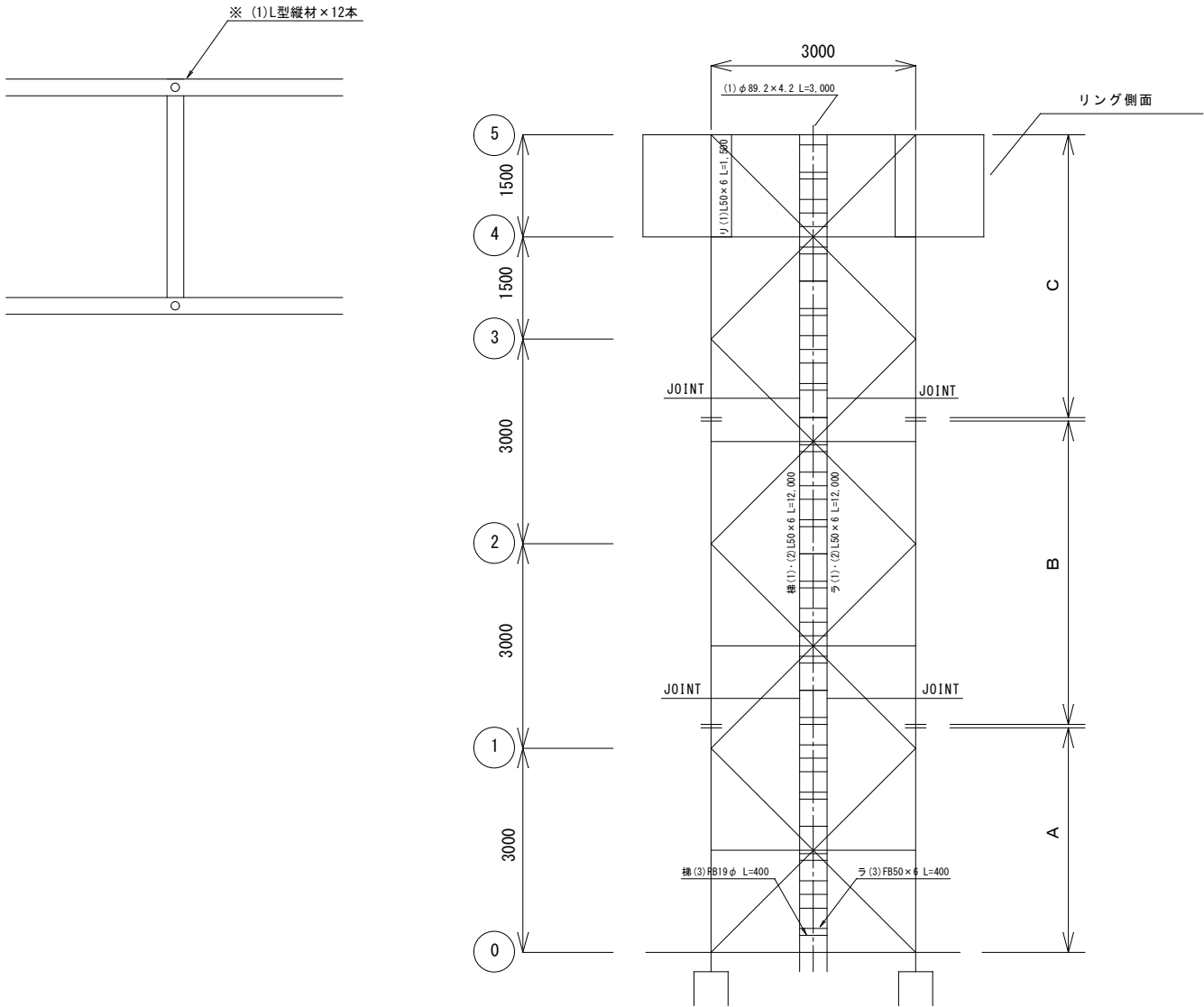
N o .	位 置	部 材	長 さ (mm) 面 積 (㎡)	個 数	取 替	ボ ル ト	個 数	取 替
1	E 平面	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	O	M16 × 40	4	O
1-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	O			
2	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	1	M16 × 40	6	6
2-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	1			
3	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	O	M16 × 40	4	O
3-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	O			
4	"	φ 60.5 × 3.2	2,637 mm	1	1	M16 × 40	6	6
4-1	"	PL6 × 185 × 100	0.0185 ㎡	1	1			
5	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
6	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
7	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
8	"	L65 × 6	2,100 mm	1	O			
9	"	L75 × 6	3,000 mm	1	O	M16 × 40	4	O
9-1	"	PL6 × 150 × 100	0.015 mm	1	O			
9-2	"	PL6 × 150 × 100	0.015 mm	1	O			
1 O	"	L50 × 6	400 mm	1	O	M16 × 40	2	O
1 1	"	L50 × 6	400 mm	1	O	M16 × 40	2	O



姿図

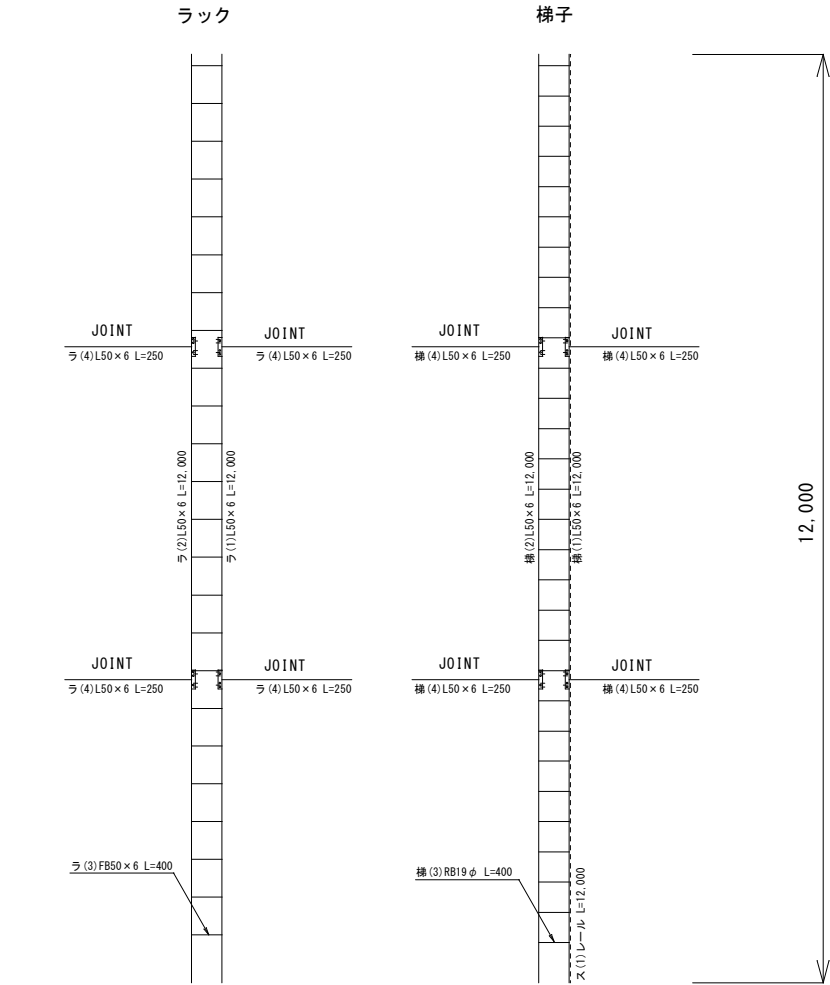
註 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50 × 6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) H/L は SS540 の山形鋼を示す。
ボルト記号
× M12 皿ボルト JIS N. SW 付 (SS400)
● M12 ボルト JIS N. SW 付 (SS400)
○ M16 ボルト JIS N. SW 付 (SS400)
◎ M20 ボルト JIS N. SW 付 (SS490)
⊗ M24 ボルト JIS N. SW 付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	名護市	図面名称	鉄塔構造図(11)
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-17
検 印	照 査 設 計 製 図 施 工 者		



A-Bリング

N o .	位 置	部 材	長 さ	個 数	取 替	ボルト	個 数	取 替
1	縦 材	L50×6	1,500	12	○	M16×50	24	○



梯 子

N o .	位 置	部 材	長さ(mm)	個数	取替	ボルト	個数	取替
梯(1)	①～⑤	L50×6	12,000	1	○			
梯(2)	①～⑤	L50×6	12,000	1	○			
梯(3)	①～⑤	RB19φ(梯子丸棒)	400	30	○			
梯(4)	①～⑤	L50×6(ジョイント)	250	4	○	M16×40	24	○

ラック

N o .	位 置	部 材	長さ(mm)	個数	取替	ボルト	個数	取替
ラ(1)	①～⑤	L50×6	12,000	1	○			
ラ(2)	①～⑤	L50×6	12,000	1	○			
ラ(3)	①～⑤	FB50×6	400	24	○	M16×40	48	○
ラ(4)	①～⑤	L50×6(ジョイント)	250	4	○	M16×40	24	○
ラ(5)	鉄塔～建屋入口	L50×6	20,000	4	○			

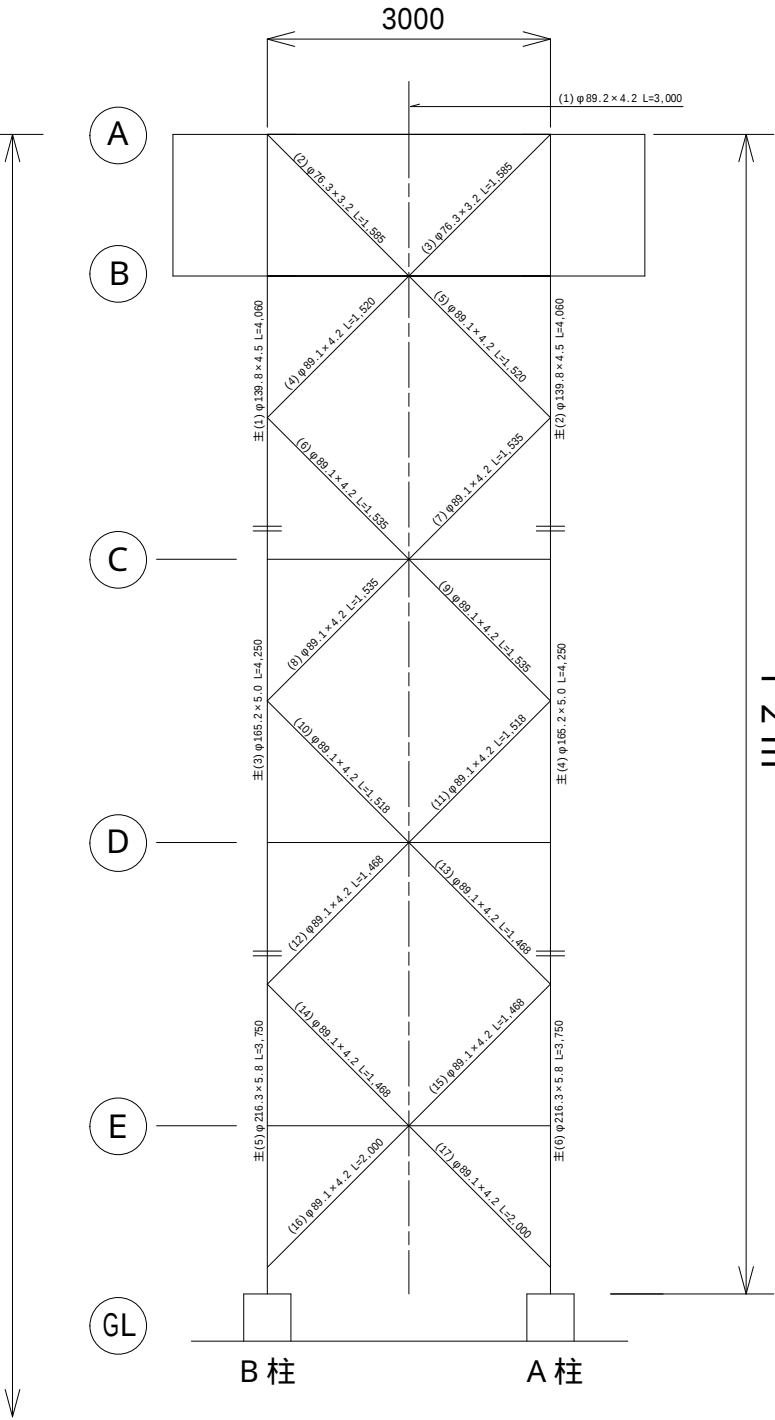
スカイレール

N o .	位 置	部 材	面積(mm)	個数	取替	ボルト	個数	取替
ス(1)	①～⑤	レール	12,000	1	○			
ス(2)		安全器		2	○			

- 注 記
- 1) 指示なきプレートは PL6 とする。
 - 2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
 - 3) 指示なきゲージは F/2 とする。
 - 4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
 - 5) H/Lは SS540 の山形鋼を示す。
- ボルト記号
- × M12皿ボルト JIS N、SW付(SS400)
 - M12ボルト JIS N、SW付(SS400)
 - M16ボルト JIS N、SW付(SS400)
 - ◎ M20ボルト JIS N、SW付(SS490)
 - ⊗ M24ボルト JIS N、SW付(SS490)
- 鋼材により隠れてしまう等、確認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線北都合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度	
工事場所	名護市			図面名称	鉄塔構造図(12)	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/50	
摘 要				図面番号	A-18	
検 印				施 工 者		

仮設工事
鉄塔基礎部より最上部まで
構造物に合わせて単管パイプを
組み上げて、鉄塔基礎部に
ステージを設ける。
鉄塔基礎部より最上部まで
単管足場にて組立を行う

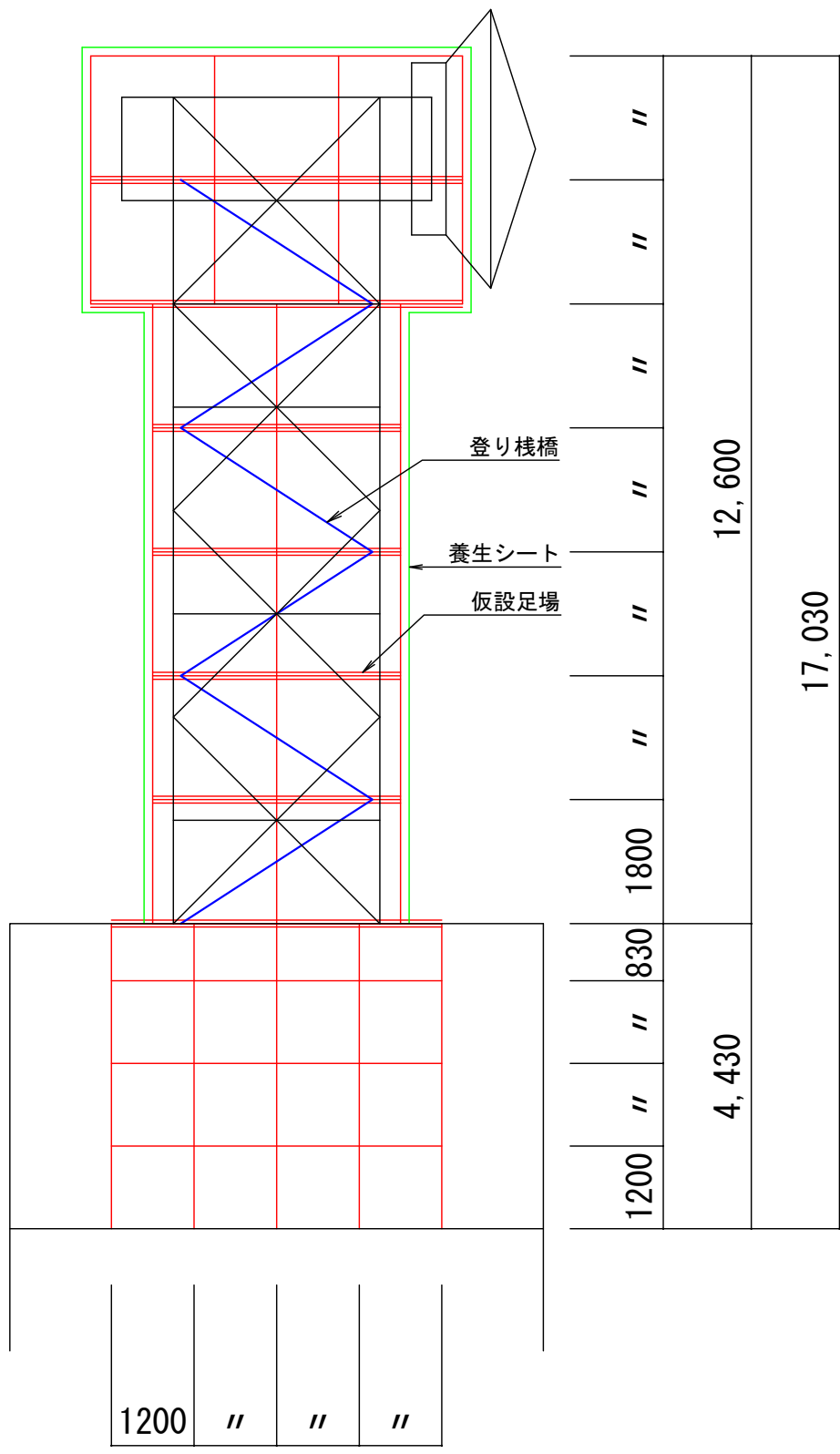


塗装概要図

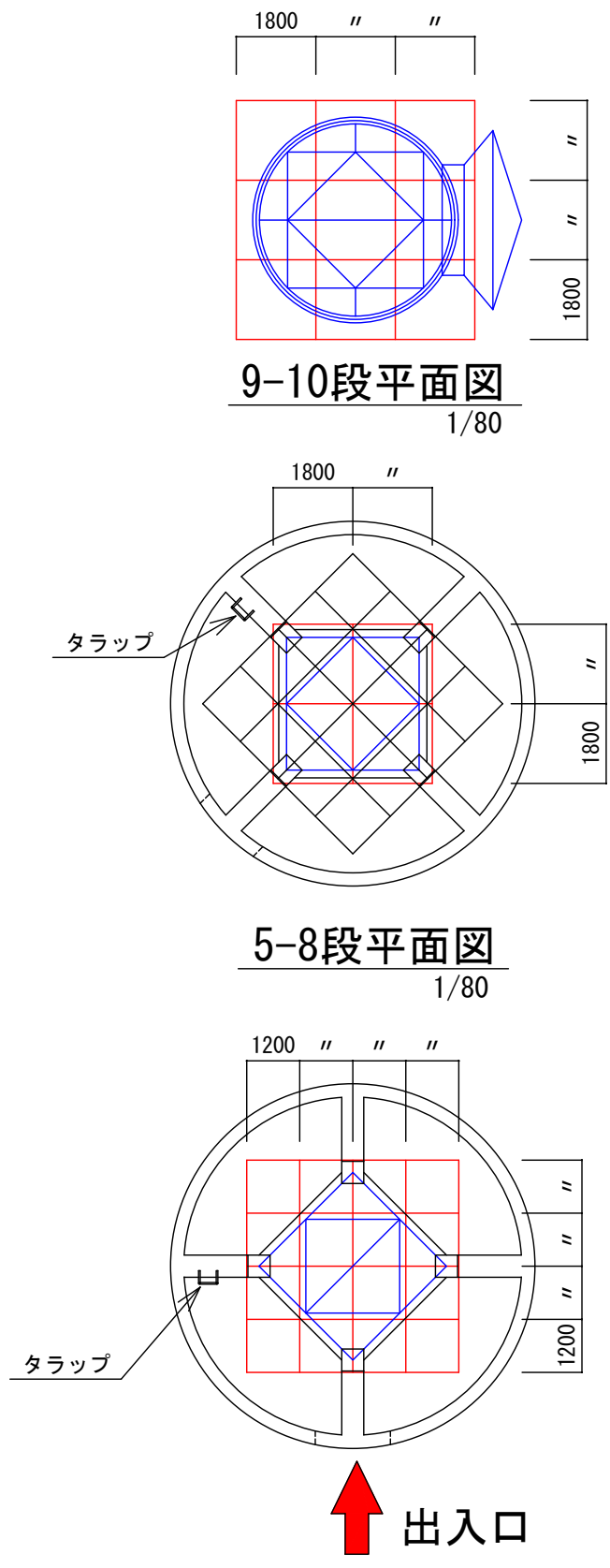
・鉄塔補修塗装 ポリウレタン仕上げ
洗浄：189㎡
乾式塗膜剥離（ケレン）：169㎡
下塗：189㎡×2回（計378㎡）
中塗：189㎡
上塗：189㎡

- 注記
- 1．既存塗膜（鉛・クロム基準値以下）の除去
1) 除去工法：交換対象外の部材に対して、乾式による
塗膜剥離工法を用いて既存の塗膜を除去する
2) 処分方法：産業廃棄物処分
 - 2．塗装
1) 鉄塔本体全て塗装を行う
2) 素地ごしらは、玉錆落とし・2種ケレンとする
3) 塗装仕様については、JIS K 5551(鉛・クロムフリー)塗料と
同等以上の塗料を選定する。
4) 塗装色：グレー

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度	
工事場所	名護市			図面名称	塗装概要図	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/40	
摘 要				図面番号	A-19	
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者		



仮設足場設置図
1/50



4段平面図
1/80

・仮設足場

①立面

0-4段 : $4.8\text{m} \times 4.43\text{m} \times 4\text{面} = 85.06\text{m}^2$
5-9段 : $3.6\text{m} \times 9\text{m} \times 4\text{面} = 129.6\text{m}^2$
10-11段 : $5.4\text{m} \times 3.6\text{m} \times 4\text{面} = 77.76\text{m}^2$
 $85.06\text{m}^2 + 129.6\text{m}^2 + 77.76\text{m}^2 = 292.42\text{m}^2$

②平面

0-4段 : $23.04\text{m}^2 \times 1\text{段} = 23.04\text{m}^2$
5-8段 : $12.96\text{m}^2 \times 4\text{段} = 51.84\text{m}^2$
9-10段 : $29.16\text{m}^2 \times 2\text{段} = 58.32\text{m}^2$
 $23.04\text{m}^2 + 51.84\text{m}^2 + 58.32\text{m}^2 = 133.20\text{m}^2$

(立面) (平面)
 $292.42\text{m}^2 + 133.20\text{m}^2 = 425.62\text{m}^2$

計 426 m^2

・養生シート

①立面

5-9段 : $3.6\text{m} \times 9\text{m} \times 4\text{面} = 129.6\text{m}^2$
10-11段 : $5.4\text{m} \times 3.6\text{m} \times 4\text{面} = 77.76\text{m}^2$

(立面)
 $129.6\text{m}^2 + 77.76\text{m}^2 = 207.36\text{m}^2$

計 207 m^2

・登り桟橋

①立面

$3.6\text{m} \times 6\text{段} = 21.6\text{m}$

計 21.6m

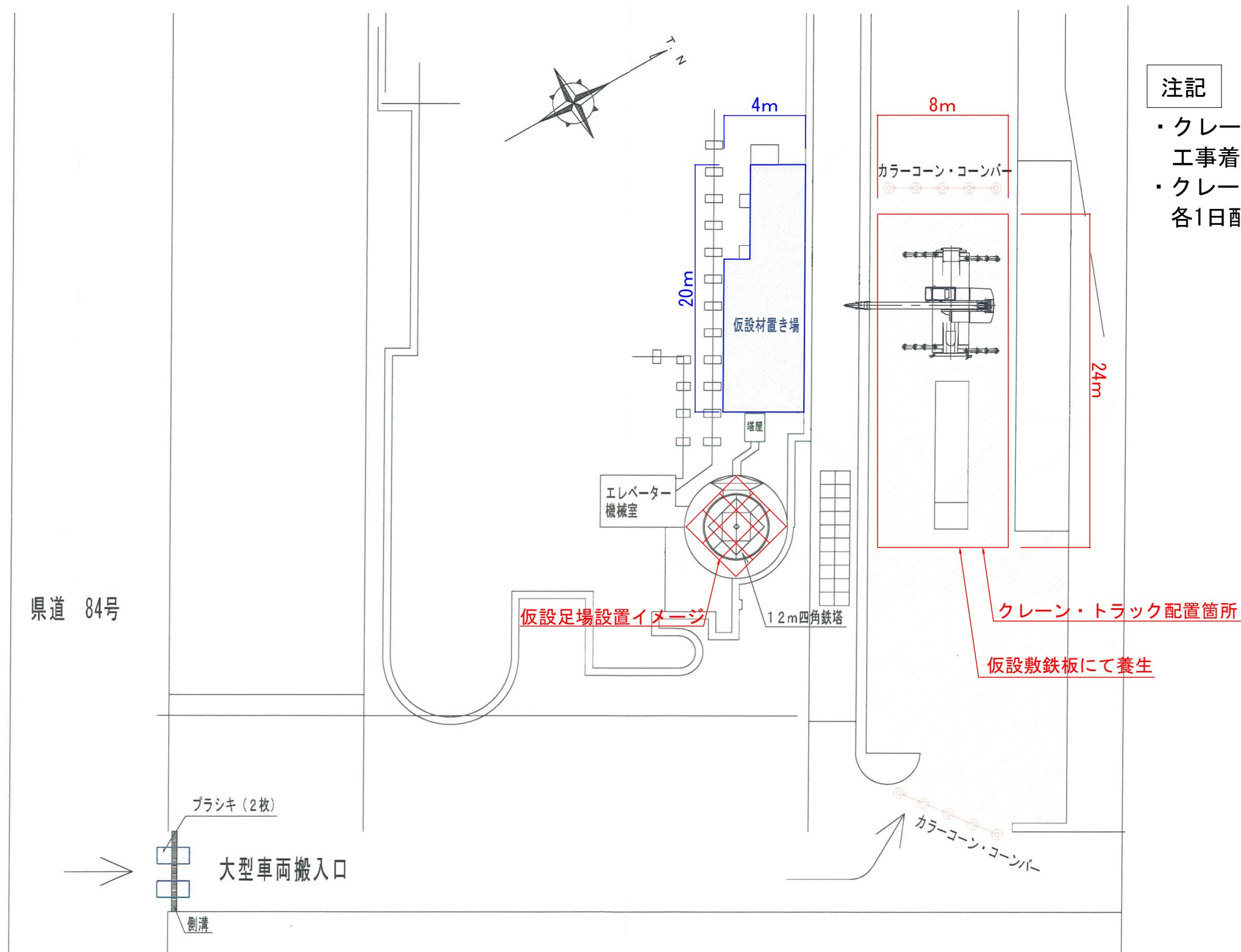
・安全手摺

①平面(最上部のみ設置)

$5.4\text{m} \times 4\text{面} = 21.6\text{m}$

計 21.6m

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	名護市	図面名称	仮設足場設置図
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮尺	1/50, 1/80
摘要		図面番号	A-20
検印	照査設計製図	施工者	



- 注記
- ・ クレーン配置・仮設資材置場の位置については工事着手前に施設管理者と調整すること。
 - ・ クレーンと仮設敷鉄板は、荷上げ・下げ時に各1日配置する。

北部合同庁舎クレーン計画平面図

工事名称	防災行政用無線北部合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度
工事場所	名護市			図面名称	仮設計画図
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮尺	NO SCALE
摘要				図面番号	A-21
検印	照	査	設	計	製
					図
				施	
				工	
				者	